令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Cブロック】

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
B・C・D・F	音楽	オーケストラ等	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	○	○	○	○	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！	●ビゼー/歌劇「カルメン」より　前奏曲 ●楽器紹介 ●マスカーニ/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲 ●オペラ・アリア ●校歌合唱 ●指揮者体験コーナー　ビゼー/歌劇「カルメン」より　前奏曲 ●共演コーナー　杉本　竜一/ビリーヴ ●チャイコフスキー　/バレエ組曲「くるみ割り人形」より　” 花のワルツ ” ●シュトラウスⅠ世　/ラデツキー行進曲　等	
A・B・C	演劇	児童劇	劇団たんぽぽ	○	○	○	－	メニューはお話 『おはなしレストラン』	『おはなしレストラン』 原作/ブレーメンの音楽隊・おおきなかぶ 脚本/宮田恵紀子　　演出/村岡由美子 音楽/村岡由美子　　衣装・美術/柿平衣名美 照明/真野亮文	
B・C	舞踊	バレエ	スターダンサーズ・バレエ団	○	○	○	－	クラシックバレエの世界へようこそ	「白鳥の湖」「眠りの森の美女」より抜粋、ワルツ体験 「くるみ割り人形」より スペイン、アラビア、中国、トレパック、金平糖、花のワルツ 音楽：チャイコフスキー 演出:小山久美	
A・C・G	メディア芸術	映像	こども映画教室	－	○	○	○	映画鑑賞+映画制作ワークショップ 「生きていないものが動く！」 ～体育館が映画館に！ みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！～	～“映画を観ている「私」”を感じ、映画に対して「私なりの考えを持つこと」や「自分なりにその映画をうけとり、自分たちの頭の中で映画を作り出す～名作映画の鑑賞，作品制作を通して発想力を引き出し，芸術鑑賞能力を育むワークショップ企画です。 1日目【ワークショップ】映画『赤い風船』鑑賞・グループワーク 　　→【メインプログラム】撮影・編集ワークショップ 2日目【ワークショップ】作品発表・鑑賞・講評	

【A区分・B区分団体】

C	音楽	オーケストラ等	山形交響楽団	○	○	○	○	コンサートタイトル： DORAMATIC　STORY音楽が描きだす物語 ～時代の革命児ベートーヴェンから、20世紀の光と影を描いたバーンスタイン～	①ジョン・ウィリアムズ：映画「E. T. 」メインタイトル ②ビゼー：歌劇「カルメン」より“闘牛士” ③ベートーヴェン：交響曲第５番「運命」第１楽章 ④マルコム・アーノルド：スコットランド舞曲第1番 ⑤ピアソラ：リベルタンゴ、①ベートーヴェンと遊ぼう！／３つの「トルコ行進曲」(ﾍﾞｰﾄｰｳﾞｪﾝ、ﾓｰﾂｧﾙﾄ、ｼｭｰﾍﾞﾙﾄ ⑥バーンスタイン：ミュージカル「ウエストサイドストーリー」セレクション～“素敵な気持ち”“マリア”“何かが起こりそう”“トゥナイト”等 ⑦村川千秋版題材：最上川舟歌・花笠音頭　等	
C	音楽	オーケストラ等	仙台フィルハーモニー管弦楽団	○	○	○	○	「杜の都・仙台」からフル・オーケストラがやってきた！ 仙台フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラコンサート2021	①J.ウィリアムズ ：「スター・ウォーズ」組曲より メイン・タイトル ②スーザ：行進曲「星条旗よ永遠なれ」 ③【指揮体験】ビゼー：歌劇「カルメン」より ④V. モンティ：チャールダシュ サクソフォン独奏：齋藤健太 ⑤R.モリネッリ 作曲：ニューヨークからの４つの絵より Ⅳ.ブロードェイ・ナイトサクソフォン独奏：齋藤健太 ⑥杉本竜一：ビリーブ等 ⑦J. シュトラウス2世 作曲ワルツ「美しく青きドナウ」作品３１４ ⑧ 校歌　等	
C	音楽	オーケストラ等	大阪交響楽団	○	○	○	○	大阪交響楽団　演奏会	【オープニング】 ジョン・ウィリアムズ 映画「スターウォーズ」から”メインテーマ” 【カルメンの物語】　ビゼー 歌劇「カルメン」（組曲）より（ナレーションつき） 【オーケストラと共演】 ①杉本竜一／ビリーブ（小学校） ②スーザ／行進曲「星条旗よ永遠なれ」 ③スーザ／行進曲「ワシントンポスト」 ④佐藤眞／オラトリオ「土の歌」より　“大地讃頌”（中学校） 【アンコール】 ①J・シュトラウスⅡ　ラデツキー行進曲 ②校歌　等	
C	音楽	音楽劇	藤原歌劇団	○	○	○	－	オペラ「助けて、助けて　宇宙人がやってきた！」 全1幕　日本語上演	オペラ「助けて、助けて　宇宙人がやってきた！」 全1幕　日本語上演 作曲／台本：ジャン・カルロ・メノッティ 演出：岩田達宗　　美術：島次郎 衣裳：増田恵美　　照明：稲葉直人 振付：鷲田実土里　　音響：寺部和貴	
C	演劇	児童劇	一般社団法人 劇団野ばら	○	○	○	－	創作劇「あした あさって しあさって」	創作劇「あした あさって しあさって」 脚本　かめおか　ゆみこ 演出　香川　良成・北川明光 音楽　小椋　佳　/田島美津子 振付　飯塚健祐	
C	演劇	児童劇	デフ・パペットシアター・ ひとみ	○	○	○	○	ろう者と聴者が協働でつくる、家族を描く人形劇	『はこ/BOXES　じいちゃんのオルゴール♪』 構成・演出：くすのき燕（人形芝居燕屋） 美術：太田拓美　　音楽：田丸智也/やなせけいこ 照明：後藤義夫（ステージ・アイ） 音響プラン：森下勝史（人形劇団ひとみ座） マイム指導：チカパン　　スライド写真：古屋均 舞台監督：やなせけいこ 演出助手：しのざきあき（人形劇団ひとみ座）	
C	演劇	演劇	株式会社　劇団影法師	○	○	○	○	ユネスコ世界無形文化遺産！珍しい伝統影絵“皮影戯（ピーインシー）”を観てみよう！	「西遊記―三打白骨精の巻―」 原作：呉承恩　脚色：馬鉄漢・関澄一輝 演出：柴廣義　音楽：若松正司 人形美術：柴廣義 声の出演：孫悟空（橋爪功）、 猪八戒（三谷昇）、沙悟浄（有川博）	R3 （新規）
C	演劇	演劇	カンパニーデラシネラ	○	○	○	○	カンパニーデラシネラ 『ドン・キホーテ』	『ドン・キホーテ』 原作／ミゲル・デ・セルバンテス 演出／小野寺修二 美術／石黒猛	
C	演劇	ミュージカル	ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ	○	○	○	○	ミュージカル「小さい“つ“が消えた日」	ミュージカル「小さい“つ“が消えた日」 原作：ステファノ・フォン・ロー（三修社刊） 脚本・作詞・演出：前嶋のの　　音楽：大竹創作 美術：根来美咲（青年座） 人形美術・製作：鹿島佳子、高椋士門(木ぐつの木) 振付：三枝宏次　　歌唱指導：坂口阿紀 衣裳：天野杏百子　照明：千田実（千田オフィス） 音響：返町吉保（キャンビット） 舞台監督：岩戸堅一（アートシーン）	
C	舞踊	バレエ	一般財団法人 牧阿佐美バレヱ団	○	○	○	○	初めてのバレエ　参加して楽しもう！古典バレエの名作 「ドン・キホーテ」	「ドン・キホーテ」 作曲　　レオン・ミンクス 演出・振付　アザーリ・M・プリセツキー、ワレンティーナ・サーヴィナ 演出・振付改訂　三谷恭三（プティパ版に基ずく）	
C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 山本能楽堂	○	○	○	○	【能と遊ぼう！　狂言「柿山伏」 と　能「羽衣」】	■狂言「柿山伏」 ／ 本狂言の中の鬼山伏狂言 ■能「羽衣」 ／ 作者不明　素材・「丹後風土記」などの羽衣伝説	
C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	組踊伝承の会	○	○	○	○	「宮城茂雄　子どものための組踊の世界」	■若衆踊り「若衆ぜい」 雑踊り「浜千鳥」 ■組踊　執心鐘入（玉城朝薫作）　等	
C	伝統芸能	人形浄瑠璃	八王子車人形 西川古柳座	－	○	○	○	八王子車人形	❶『人形三番叟』 ❷八王子車人形教室 体験：立ち回り・『チャンバラ・とつけ打ち』 八王子車人形で舞踊『さくらさくら』 義太夫節『三番叟』 ❸『日高川入相花王－渡し場の段－)』 －安珍清姫のお話－（作：竹田小出雲・平松半二など）	
C	伝統芸能	邦楽	一般社団法人　伶楽舎	○	○	○	○	「伶楽舎　子どものための雅楽コンサート」	■第1部■ 雅楽古典曲　管絃「平調音取」「越天楽」、 「陪臚」（中学校のみ）、雅楽古典曲　舞楽「陵王」、 各学校の校歌[雅楽編曲版](小・中学校)、 わらべうた（小学校のみ） ■第2部■ 小学校＝語り付き創作雅楽作品「ポン太と神鳴りさま」（芝祐靖作曲・脚本）、 中学校＝語り付き創作雅楽作品「踊れ！つくも神～童子丸てんてこ舞の巻～」（伊左治直作曲・脚本）	
C	伝統芸能	演芸	公益社団法人 上方落語協会	○	○	○	○	こどもらくご教室～落語のしくみがカンタンまるわかり～（仮称）	■「寿限無」、「転失気」、「動物園」、「時うどん」、「七度狐」など （児童・生徒が情景を容易に想像し、楽しめる演目）	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については，実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し，文化庁(事務局)，実施団体，実施校間において，必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため，各企画の出演希望調書では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から，「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

		C区分団体			
		K256	K437	K712	K1402
		ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	劇団たんぽぽ	スターダンサーズ・バレエ団	こども映画教室
巡回ブロック		B/C/D/F	A/B/C	B/C	A/C/G
種目		オーケストラ等	児童劇	バレエ	映像
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	あり
6月1日	火		○	●	
6月2日	水		○	○	
6月3日	木		○	○	
6月4日	金		○	○	
6月5日	土				
6月6日	日				
6月7日	月		○	○	
6月8日	火		○	○	
6月9日	水		○	○	
6月10日	木		○	○	
6月11日	金		○	○	
6月12日	土				
6月13日	日				
6月14日	月		○	○	
6月15日	火		○	○	○
6月16日	水		○	○	○
6月17日	木		○	○	○
6月18日	金		○	○	○
6月19日	土		●		
6月20日	日				
6月21日	月			○	○
6月22日	火			○	○
6月23日	水			○	○
6月24日	木			○	○
6月25日	金			○	○
6月26日	土				
6月27日	日				
6月28日	月			○	○
6月29日	火			○	○
6月30日	水			○	○
7月1日	木			○	
7月2日	金			○	
7月3日	土				
7月4日	日		●		
7月5日	月		○	○	○
7月6日	火		○	○	○
7月7日	水		○	○	○
7月8日	木		○	○	○
7月9日	金		○	○	○
7月10日	土				
7月11日	日				
7月12日	月		○		○
7月13日	火		○		○
7月14日	水		○		○
7月15日	木		○		○
7月16日	金		○		○
7月17日	土				
7月18日	日				
7月19日	月				
7月20日	火		○		
7月21日	水		○		
7月22日	木		○		
7月23日	金		○		
7月24日	土		●		
7月25日	日				
7月26日	月				
7月27日	火				
7月28日	水				
7月29日	木				
7月30日	金				
7月31日	土				
8月1日	日				
8月2日	月				
8月3日	火				
8月4日	水				
8月5日	木				
8月6日	金				
8月7日	土				
8月8日	日				
8月9日	月				
8月10日	火				
8月11日	水				
8月12日	木				
8月13日	金				
8月14日	土				
8月15日	日				
8月16日	月				
8月17日	火				
8月18日	水				
8月19日	木				
8月20日	金				
8月21日	土				
8月22日	日				
8月23日	月				
8月24日	火				
8月25日	水				
8月26日	木				
8月27日	金				
8月28日	土				
8月29日	日				
8月30日	月				
8月31日	火	●			
9月1日	水	○			
9月2日	木	○			
9月3日	金	○			
9月4日	土	○			
9月5日	日	○			
9月6日	月	○			○
9月7日	火	○			○
9月8日	水	○			○
9月9日	木	○			○
9月10日	金	○			○
9月11日	土	○			
9月12日	日	○			
9月13日	月	○			○
9月14日	火	○			○
9月15日	水	○			○
9月16日	木	○			○
9月17日	金				○
9月18日	土				
9月19日	日				
9月20日	月				
9月21日	火				
9月22日	水				
9月23日	木				
9月24日	金				
9月25日	土				
9月26日	日				
9月27日	月				
9月28日	火				
9月29日	水	○			
9月30日	木	○			
10月1日	金	○			
10月2日	土	○			
10月3日	日	○			
10月4日	月	○		●	
10月5日	火	○		○	
10月6日	水	○		○	
10月7日	木	○		○	
10月8日	金	○		○	
10月9日	土	○			
10月10日	日	○			
10月11日	月	○			
10月12日	火	○		○	
10月13日	水	○		○	
10月14日	木	○		○	
10月15日	金	○		○	
10月16日	土	○			
10月17日	日	○			
10月18日	月	○		○	

	A・B区分団体														
	C202	C212	C243	C307	C409	C412	C504	C523	C616	C709	C906	C920	C1005	C1117	C1309
	山形交響楽団	仙台フィルハーモニー管弦楽団	大阪交響楽団	藤原歌劇団	一般社団法人劇団野ばら	デフ・パペットシアター・ひとみ	株式会社劇団彩法師	カンパニー・デラシネラ	ミュージカルカンパニーイッツフォーリーズ	一般財団法人牧阿佐美バレエ団	公益財団法人山本能楽堂	組踊伝承の会	八王子車人形西川古柳座	一般社団法人伶楽舎	公益社団法人上方落語協会
巡回ブロック	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
種目	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	人形浄瑠璃	邦楽	演芸
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし
6月1日							○						○	●	●
6月2日							○						○	○	○
6月3日							○						○	○	○
6月4日							○						○	○	○
6月5日							○							○	
6月6日			●				○					●		○	
6月7日			○				○				○	○	○	○	●
6月8日			○				○				○	○	○	○	○
6月9日			○				○				○	○	○	○	○
6月10日			○				○					○	○	○	○
6月11日			○				○				○	○	○	○	○
6月12日			○				○							○	
6月13日		●	○				○				○			○	
6月14日		○					○				○	●	○	○	●
6月15日		○					○				○		○	○	○
6月16日		○					○				○		○	○	○
6月17日		○					○				○		○	○	○
6月18日		○					○						○	○	○
6月19日							○							○	
6月20日							○					●		○	
6月21日							○				○	○	○	○	●
6月22日							○				○	○	○	○	○
6月23日							○				○	○	○	○	○
6月24日							○				○	○	○	○	○
6月25日							○				○	○	○	○	○
6月26日							○				○			○	
6月27日		●					○				○			○	
6月28日		○					○				○	●	○	○	●
6月29日		○					○				○		○	○	○
6月30日		○					○				○		○	○	○
7月1日		○					○				○		○	○	○
7月2日		○					○				○		○	○	○
7月3日							○				○			○	
7月4日							○				○			○	
7月5日	○						○				○		○	○	
7月6日	○						○				○		○	○	
7月7日	○						○				○		○	○	
7月8日	○						○				○		○	○	
7月9日	○						○						○	●	
7月10日							○								
7月11日		●					○				○				
7月12日		○					○				○		○		
7月13日		○					○				○		○		
7月14日		○					○				○		○		
7月15日		○					○				○		○		
7月16日		○					○						○		
7月17日															
7月18日															
7月19日															
7月20日											○				
7月21日											○				
7月22日											○				
7月23日															
7月24日															
7月25日															
7月26日											○				
7月27日											○				
7月28日											○				
7月29日											○				
7月30日											○				
7月31日											○				
8月1日											○				
8月2日											○				
8月3日											○				
8月4日											○				
8月5日											○				
8月6日											○				
8月7日															
8月8日															
8月9日															
8月10日															
8月11日															
8月12日															
8月13日															
8月14日															
8月15日			●												
8月16日			○												
8月17日			○												
8月18日			○								○				
8月19日			○								○				
8月20日			○								○				
8月21日			○								○				
8月22日			○								○				
8月23日			○								○				
8月24日			○				○				○				
8月25日			○				○				○				
8月26日			○				○				○				
8月27日							○				○				
8月28日							○				○				
8月29日							○				○	●			
8月30日			○				○				○	○			
8月31日			○				○				○	○			
9月1日			○				○				○	○		●	
9月2日			○				○				○	○		○	
9月3日			○				○				○	○		○	
9月4日			○				○				○	○		○	
9月5日			○				○				○	○		○	
9月6日	○						○				○	○		○	
9月7日	○						○				○	○		○	
9月8日	○						○				○	○		○	
9月9日	○						○				○	○		○	
9月10日	○		○				○					○		○	
9月11日			○				○					○		○	
9月12日			○				○					○		○	
9月13日	○		○				○				○	○	○	○	
9月14日	○		○				○				○	○	○	○	
9月15日	○		○				○				○	○	○	○	
9月16日	○		○				○				○	○	○	○	
9月17日	○		○				○				○	○	○	○	
9月18日			○				○				○	○		○	
9月19日			○				○				○	○		○	
9月20日			○				○				○	○		○	
9月21日			○				○				○	○	○	○	
9月22日			○				○				○	○	○	○	
9月23日			○				○				○	○		○	
9月24日			○				○				○	○	○	○	
9月25日			○				○				○	○		○	
9月26日			○				○				○	○		○	
9月27日							○		○			○	○	○	●
9月28日							○	○	○			○	○	○	○
9月29日							○	○	○			○	○	○	○
9月30日							○	○	○			○	○	○	○
10月1日							○	○	○			○	○	○	○
10月2日							○	○	●			○		○	
10月3日							○	○	●			○		○	
10月4日							○	○	○			○	○	○	●
10月5日		●					○	○	○		○	○	○	○	○
10月6日		○					○	○	○		○	●	○	○	○
10月7日		○					○	○	○		○		○	○	○
10月8日		○					○	○	○		○		○	○	○
10月9日							○	○	●					○	
10月10日							○	○	●					○	
10月11日							○	○	●					○	
10月12日						●	○	○	○		○		○	○	●
10月13日						○	○	○	○		○		○	○	○
10月14日						○	○	○	○		○		○	○	○
10月15日						○	○	○	○		○		○	○	○
10月16日						○	○	○	●					○	
10月17日						○	○	○	●			●		○	
10月18日						○	○	○	○	●	○	○	○	○	●

		C区分団体			
		K256	K437	K712	K1402
		ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	劇団たんぽぽ	スターダンサーズ・バレエ団	こども映画教室
巡回ブロック		B/C/D/F	A/B/C	B/C	A/C/G
種目		オーケストラ等	児童劇	バレエ	映像
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	あり
10月19日	火	○		○	
10月20日	水	○		○	
10月21日	木	○		○	
10月22日	金	○		○	
10月23日	土	○			
10月24日	日	○			
10月25日	月	○		○	○
10月26日	火	○		○	○
10月27日	水	○		○	○
10月28日	木	○		○	○
10月29日	金	○		○	○
10月30日	土	○			
10月31日	日	○			
11月1日	月	○		○	
11月2日	火	○		○	
11月3日	水	○			
11月4日	木	○		○	
11月5日	金	○		○	
11月6日	土	○			
11月7日	日	○			
11月8日	月	○			
11月9日	火	○			
11月10日	水	○			
11月11日	木	○			
11月12日	金	○			
11月13日	土	○			
11月14日	日	○			
11月15日	月	○			○
11月16日	火	○			○
11月17日	水	○			○
11月18日	木	○			○
11月19日	金	○			○
11月20日	土	○			
11月21日	日	○			
11月22日	月	○			
11月23日	火	○			
11月24日	水	○			
11月25日	木	○			
11月26日	金				
11月27日	土				
11月28日	日				
11月29日	月				○
11月30日	火				○
12月1日	水				○
12月2日	木				○
12月3日	金				○
12月4日	土				
12月5日	日				
12月6日	月			●	○
12月7日	火			○	○
12月8日	水			○	○
12月9日	木			○	○
12月10日	金			○	○
12月11日	土				
12月12日	日				
12月13日	月			○	○
12月14日	火			○	○
12月15日	水	○		○	○
12月16日	木	○		○	○
12月17日	金	○		○	○
12月18日	土	○			
12月19日	日	○			
12月20日	月	○		○	
12月21日	火	○		○	
12月22日	水	○		○	
12月23日	木	○		○	
12月24日	金	○		○	
12月25日	土	○			
12月26日	日	○			
12月27日	月				
12月28日	火				
12月29日	水				
12月30日	木				
12月31日	金				
1月1日	土				
1月2日	日				
1月3日	月				
1月4日	火				
1月5日	水				
1月6日	木	○			
1月7日	金	○			
1月8日	土	○			
1月9日	日	○			
1月10日	月	○			
1月11日	火	○		●	
1月12日	水	○		○	
1月13日	木	○		○	
1月14日	金	○		○	
1月15日	土	○			
1月16日	日	○			
1月17日	月	○		○	
1月18日	火	○		○	
1月19日	水	○		○	
1月20日	木	○		○	
1月21日	金	○		○	
1月22日	土	○			
1月23日	日	○			
1月24日	月	○		○	
1月25日	火	○		○	
1月26日	水	○		○	
1月27日	木	○		○	
1月28日	金	○		○	
1月29日	土	○			
1月30日	日	○			
1月31日	月	○		○	

	A・B区分団体														
	C202	C212	C243	C307	C409	C412	C504	C523	C616	C709	C906	C920	C1005	C1117	C1309
	山形交響楽団	仙台フィルハーモニー管弦楽団	大阪交響楽団	藤原歌劇団	一般社団法人劇団野ばら	デフ・パペットシアター・ひとみ	株式会社劇団彩法師	カンパニーデラシネラ	ミュージカルカンパニーイッツフォーリーズ	一般財団法人牧阿佐美バレエ団	公益財団法人山本能楽堂	組踊伝承の会	八王子車人形西川古柳座	一般社団法人伶楽舎	公益社団法人上方落語協会
巡回ブロック	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
種目	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	人形浄瑠璃	邦楽	演芸
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし
10月19日						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月20日						●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月21日		●					○	○	○	●	○	○	○	○	○
10月22日		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月23日			○				○	○	●			○		○	
10月24日			○				○	○	●			○		○	
10月25日			○				○	○	○	●	○	○	○	○	●
10月26日			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月27日			○				○	○	○	●	○	●	○	○	○
10月28日			○				○	○	○	○	○		○	○	○
10月29日							○	○	○	○			○	○	○
10月30日							○							○	
10月31日							○					●		○	
11月1日							○			●	○	○	○	○	
11月2日							○			○	○	○	○	○	
11月3日							○			●		○		○	
11月4日							○			○	○	○	○	○	
11月5日							○			○	○	○	○	○	
11月6日			○				○					○		○	
11月7日			○				○					○		○	
11月8日			○			●	○			●	○	○	○	○	●
11月9日			○			○	○			○	○	○	○	○	○
11月10日			○			○	○			○	○	●	○	○	○
11月11日			○			○	○			○	○		○	○	○
11月12日			○			○	○			○	○		○	○	○
11月13日			○			○	○							○	
11月14日			○			○	○							○	
11月15日			○		○	○	○			○	○	○	○	○	●
11月16日			○		○	○	○			●	○	○	○	○	○
11月17日			○		○	○	○			○		○	○	○	○
11月18日					○	○	○			○		○	○	○	○
11月19日					○	○	○			○		○	○	○	○
11月20日						○	○							○	
11月21日						○	○			●				○	
11月22日					○	○	○			○		●	○	○	
11月23日						○	○			●				○	
11月24日					○	○	○			○	○		○	○	●
11月25日					○	○	○			○	○		○	○	○
11月26日					○	○	○			○	○		○	○	○
11月27日						○	○							○	
11月28日						○	○					●		○	
11月29日					○	○	○			●	○	○	○	○	●
11月30日	○				○	○	○			○	○	○	○	○	○
12月1日	○			○	○	○	○				○	○	○	○	○
12月2日	○			○	○	○	○				○	○	○	○	○
12月3日	○			○	○	○	○					○	○	○	○
12月4日						○	○					○		○	
12月5日						○	○					○		○	
12月6日			○	○	○	○	○				○	○	○	○	●
12月7日			○	○	○	○	○				○	○	○	○	○
12月8日			○	○	○	○	○				○	●	○	○	○
12月9日			○	○	○	○	○						○	○	○
12月10日				○	○	○	○						○	○	○
12月11日						●	○							○	
12月12日			○				○					●		○	
12月13日			○	○	○		○				○	○	○	○	●
12月14日			○	○	○		○				○	○	○	○	○
12月15日			○	○	○		○				○	○	○	○	○
12月16日			○	○	○		○				○	○	○	○	○
12月17日				○	○		○				○	○	○	○	○
12月18日							○				○	○		○	
12月19日							○				○	○		○	
12月20日							○				○	○		○	●
12月21日							○				○	○		○	○
12月22日							○				○	●		○	○
12月23日							○				○			○	○
12月24日							○				○			●	○
12月25日							○								
12月26日							○								
12月27日															
12月28日															
12月29日															
12月30日															
12月31日															
1月1日															
1月2日															
1月3日															
1月4日															
1月5日															
1月6日				○			○								
1月7日				○			○								
1月8日							○								
1月9日							○								
1月10日							○					●			
1月11日			○	○			○				○	○			●
1月12日			○	○			○				○	○			○
1月13日			○	○			○				○	○			○
1月14日			○	○			○				○	○			○
1月15日			○				○								
1月16日			○				○								
1月17日			○	○			○				○	○	○		●
1月18日			○	○			○				○	○	○		○
1月19日			○	○			○				○	●	○		○
1月20日			○	○			○				○		○		○
1月21日			○	○			○				○		○		○
1月22日							○				○				
1月23日							○				○				
1月24日							○				○		○		●
1月25日							○				○		○		○
1月26日							○				○		○		○
1月27日							○				○		○		○
1月28日							○				○		○		○
1月29日							○				○				
1月30日							○				○				
1月31日							○				○		○		

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　　あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	がっこうほうじん　おおさかおんがくだいがく 学校法人　大阪音楽大学		
代表者職・氏名	理事長 ・ 中村　孝義		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒561-8555　大阪府豊中市庄内幸町１丁目１番８号 （最寄り駅：阪急宝塚線　庄内駅）		
電話番号	06-6336-2001（直通）	ＦＡＸ番号	06-6331-4300
ふりがな 公演団体名	かんげんがくだん ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団		
代表者職・氏名	ザ・カレッジ・オペラハウス館長 ・ 中村　孝義		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒561-8555　大阪府豊中市庄内幸町１丁目１番８号 （最寄り駅：阪急宝塚線　庄内駅）		
制作団体設立年月	1988年　4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長　中村　孝義 副理事長　本田　耕一 常任理事　十川　輝明 福井　慎吾 岡野　幸義	■大阪音楽大学 教職員数　628 名　学生数　1,077 名 （令和２年７月１日現在） ■ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 別紙参照 （令和２年４月１日現在）	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	オーケストラマネージャー 齋藤　秀之
経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	連携・演奏事務部門長 江良　成人

制作団体沿革	**ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団** 「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988 年 4 月に組織。定期演奏会は 2019 年 11 月で 56 回となった。 ザ・カレッジ・オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では 1999 年ザ・カレッジ・オペラハウスの引っ越し公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000 年第 20 回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。 2005 年 9 月新国立劇場における「地域招聘公演」第 1 回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005 年 10 月ザ・カレッジ・オペラハウスでの《沈黙》および 2011 年 10 月の 20 世紀オペラ・シリーズ、B.ブリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013 年同シリーズ、B.ブリテン《ピーター・グライムズ》の公演では第 22 回三菱 UFJ 信託音楽賞を受賞し、1997 年ザ・カレッジ・オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第 6 回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。 さらに 2014 年 10 月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》および B.ブリテン《カーリュー・リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され 3 度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015 年創立 100 周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルスタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。 名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンスン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。 《 オペ管 》の愛称で親しまれている。 [ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オフィシャルホームページ] https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/

<table>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">◇学校等公演実績
桜ヶ丘幼稚園創立 50 周年記念演奏会、大阪府立交野高等学校創立記念式典、摂津市立第四中学校音楽鑑賞会、大阪府立吹田東高等学校創立 30 周年記念演奏会、摂津市立第一中学校音楽鑑賞会、山陽女子高等学校音楽鑑賞会、豊中市立第十二中学校音楽鑑賞会、神戸市立六甲アイランド高等学校音楽鑑賞会、石巻市立門脇小学校・門脇中学校、石巻専修大学、女川町立第一小学校・第二小学校・第四小学校、女川町立第一中学校・第二中学校、大阪府立大学工業高等専門学校音楽鑑賞会、大阪府高齢者大学校、その他大阪市内小学校公演（大阪市・青少年芸術体験事業）など
◇文化庁巡回公演事業
・平成 25 年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にて 24 公演を実施。
・平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 19 公演を実施。
・平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 17 公演を実施。
・平成 28 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 17 公演を実施。
・平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて　8 公演を実施。
・平成 30 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 12 公演を実施。
・令和元年度 「文化芸術による子供育成総合事業」にて 11 公演を実施。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">○平成 24 年度
大阪市・青少年芸術体験事業にて
実施校：平野特別支援学校
○平成 25 年度
「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にて
実施校：富山県立富山視覚総合支援学校
○平成 26 年度
「文化芸術による子供の育成事業」にて
実施校：杉並区立済美養護学校
○平成 27 年度
「文化芸術による子供の育成事業」にて
実施校：宮崎県立日南くろしお支援学校
○平成 30 年度
「文化芸術による子供の育成事業」にて
実施校：広島県立庄原特別支援学校</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.youtube.com/watch?v=Sebu_YVVuRM
※ 映像はオーケストラ編成が合致するものではございませんが、参考としてご使用いただきたく存じます。</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>限定公開 URL の為、ID 及びパスワードの入力は必要ありません。</td></tr>
</table>

Ａ区分・Ｂ区分・Ｃ区分共通

№2(実演芸術)

公　演　・　ワークショップの内　容　　【 公演団体名：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	**ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 オーケストラ公演プログラム** ●オープニング ビゼー　／　歌劇「カルメン」より　前奏曲 ●楽器紹介 ～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話と演奏を交えながら紹介していきます～ ●オーケストラ演奏 マスカーニ　／　歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より　間奏曲 ●オペラ・アリア ～プロの歌手による歌声をお届けします～ － 休憩　10～15 分 － ●校歌合唱 ～オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう！！～ ●指揮者体験コーナー ～君も未来のマエストロ♪オーケストラの指揮を体験♪～ ビゼー　／　歌劇「カルメン」より　前奏曲 ●共演コーナー ～合唱してみよう！～ 杉本　竜一　／　ビリーヴ ●オーケストラ演奏 チャイコフスキー　／　バレエ組曲「くるみ割り人形」より　”花のワルツ” ◆アンコール シュトラウスⅠ世　／　ラデツキー行進曲 ※上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。 公演時間（約 80 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合） 許諾の有無

演　目　概　要	
	ビゼー　／　歌劇「カルメン」より　前奏曲 演奏会のオープニングは、フランスの作曲家ビゼーが作曲した【歌劇「カルメン」より前奏曲】で華やかにスタートいたします。 「カルメン」は上演されることの多い人気の高いオペラで、特にその中の「前奏曲」は単独でもオーケストラコンサートなどでよく演奏されます。 この有名な音楽は、演奏会の幕開けにふさわしく子供たちをオーケストラの世界へグッと惹きつけます。 ***楽器紹介*** オープニングの余韻に浸りながら、楽器紹介へと続いていきます。 弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器を楽しいお話と演奏を交えながら紹介していきます。 ***マスカーニ　／　歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より　間奏曲*** オーケストラの楽器紹介で楽しく会場が盛り上がった後はちょっと一息おいて、オーケストラの演奏を聴いて頂きます。 イタリアのオペラ作曲家マスカーニが作曲した歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」は、激しく深刻な雰囲気で物語が進みますが、この「間奏曲」はこれを静めるかのような甘くゆったりとした美しい音楽です。 ***オペラ・アリア***　〔独唱＝ひとりで歌うこと〕 オーケストラの演奏に続いて、プロの歌手によるオペラ・アリアを聴いて頂きます。 オーケストラの楽器とは違い身体が楽器となる声楽家の会場一杯に響き渡る甘く美しい歌声や表情と華やかな衣装などにも注目していただきながら第 1 部のクライマックスへと導きます。 － 休憩　10～15 分 － ***校歌合唱*** 休憩でリラックスしたあと、第2部は校歌斉唱からスタートいたします。 普段、ピアノ伴奏やCDなどに合わせて歌う校歌を、プロのオーケストラの演奏をバックに、児童・生徒のみなさんに歌っていただきます。 世界で一つだけの特別バージョンの校歌で想い出に華を添えます。 ***指揮者体験コーナー*** 指揮者から指揮についての役割などをわかりやすく説明していただき、児童・生徒のみなさんの中から代表で3名の方にオーケストラの指揮に挑戦していただきます。 曲は、オープニングでお聴きいただきましたビゼー作曲の【歌劇「カルメン」より前奏曲】です。 お客さんへお辞儀をして指揮台に乗ったときのドキドキ・ワクワクする緊張感、指揮棒を振りおろすと目の前でオーケストラが鳴り出す臨場感、曲の最後まで振り切った時の達成感などをより身近で体感していただきます。 ***共演コーナー*** 校歌に続き、児童・生徒のみなさんに合唱で参加いただきます。 曲は杉本竜一作曲の【ビリーヴ】です。 参加人数にもよりますが基本的にはその場で立っていただき、オーケストラと対面した状態で歌っていただきます。 曲の歌詞に思いを込めて校歌とはまた一味違うサウンドを楽しみながら、オーケストラと児童・生徒、会場の皆さんで一体となって共演していただきます。

	<u>チャイコフスキー ／ バレエ組曲「くるみ割り人形」より ”花のワルツ”</u> 演奏会のフィナーレは、ロシアの作曲家チャイコフスキーによる【バレエ組曲「くるみ割り人形」より”花のワルツ”】を優美にお届けいたします。 「くるみ割り人形は」は3大バレエとして有名なチャイコフスキーのバレエ音楽の中の1つで、メルヘン的な雰囲気を持っているのが特徴です。 物語はクリスマスの夜のお話で、”花のワルツ”は物語の後半、おとぎの国の妖精たちがお菓子のお城でダンスを踊る場面の音楽です。 *<u>シュトラウスⅠ世 ／ ラデツキー行進曲</u>* 演奏会はフィナーレを迎えますが、アンコールの手拍子にのせてもう１曲。 シュトラウス作曲の【ラデツキー行進曲】を最後にお届けしします。 是非手拍子でご参加ください。 楽しい雰囲気に包まれコンサートは幕を閉じます。 **【ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オーケストラ公演演目について】** **― 開催校からの感想より ―** **「体育館いっぱいに響く素晴らしい演奏に大きな感動をいただいた。」** **「初めてオーケストラ演奏を鑑賞する児童も多く、大変貴重な経験をさせてもらったと感謝している。」** **「演奏曲も児童に馴染みのある曲が多く、楽器の紹介もわかりやすかった。さらにオーケストラとの「校歌」と「ビリーヴ」の共演では生き生きと楽しそうに歌う児童が印象的だった。」** **「この経験をこれからの音楽教育に役立てていきたいと思う。」** **「子供たちだけでなく、職員の中でも「今までで一番よかった！」「本物を聴けてよかった！」という声があちこちから聞こえ、いかに本公演が素晴らしかったかを改めて感じました。」**
演目選択理由	未来の文化の担い手となる子ども達の発想力やコミュニケーション能力の育成・芸術鑑賞能力の向上など総合的な子供育成に寄与すると共に、本公演でオーケストラ鑑賞を体験した子ども達が将来芸術家を目指すきっかけ作りとなる事を願いプログラムを構成いたしました。 クラシック音楽をより親しみやすく感じていただけるように様々なシーンで聞かれることの多い名曲を選択いたしました。また、司会者によるわかりやすい曲目説明によって、初めて聴くオーケストラにも興味をもってもらえるようにいたします。 楽器紹介では弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器のそれぞれの音色の違いについてお話とともに実際に音を聴いていただく事によって楽器の特徴を知り、興味を持って聴いてもらえるようにいたします。 『オペラ』を得意とする楽団の特色を活かし、オーケストラ伴奏と共にプロの歌手がオペラ・アリアを歌います。 歌声が会場一杯に響き渡り体育館がまるで音楽ホール（オペラハウス）の様になるのを感じていただきます。 共演では普段歌っている校歌とビリーヴをオーケストラと一緒に共演していただき一生の思い出となる体験をして頂きます。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	コンサートの後半に3つの児童・生徒の皆さんに参加していただくコーナーをご用意しております。 ***校歌合唱*** 校歌をオーケストラ版にアレンジし、プロのオーケストラの演奏で児童・生徒の皆さんに歌っていただきます。普段歌っている校歌がオーケストラの伴奏でどのように変わるのかは演奏会当日までのお楽しみです。子供たちの心に残る一生の思い出になるでしょう。 ***指揮者体験コーナー*** 演奏会当日、3名の児童・生徒の皆さんにオーケストラの指揮に挑戦していただきます。 誰が選ばれるかはその時までのお楽しみです。指揮棒の動きに合わせて出てくるオーケストラの音の強弱やテンポ（速さ）の違いなど間近で体感していただきます。 ***共演コーナー*** 合唱での共演形態で「ビリーヴ」をオーケストラの伴奏で一緒に歌っていただきます。
出　演　者	[指揮] 大勝　秀也　または　牧村　邦彦　他（予定） [歌と司会] 内藤　里美　または　北野　智子　他（予定） [管弦楽] ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 2,2,1,1-2,1,1,0-Timp,1Perc,Hp-Str(3-2-2-1-1)
公演出演予定者数 （1公演あたり）	指揮者：　1名 歌と司会：　1名 弦楽器：10名　(Vn.Ⅰ=3、Vn.Ⅱ=2、Va.=2、Vc.=1、Cb.=1、Hp.=1) 管楽器：10名　(Fl.=2、Ob.=2、Cl.=1、Fg.=1、Hr.=2、Tp.=1、Tb.=1) 打楽器：　2名　(Timp.=1、Perc.=1) スタッフ：　6名　(チーフマネージャー、オーケストラマネージャー、ステージマネージャー、ライブラリアン、舞台スタッフ) 合　計　：30名
機材等 運搬方法	積載量：　2t 車　長　：　約6.3m 車　高　：　約3.1m 車　幅　：　約2.0m 台　数　：　1台 ※大型楽器（ティンパニ・ハープ・コントラバス）や舞台用ひな壇（平台）等を運搬しますので、2tトラックが体育館に横付けできることが望ましく、 学校敷地内に2tトラックが乗り入れ可能であることを前提としてお考えください。 また、学校の周辺道路が**「トラック進入禁止」**などの規制がないことを事前にご確認頂きます様お願いいたします。

【 公演団体名 ： ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。	
会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安	前日仕込み(有 ・ 無) ***※基本的には前日仕込みはありませんが、会場条件によっては前日仕込みをさせて頂く場合がございます。*** ***例）午後の開催が難しく午前中の開催となる場合などは前日の仕込みが必要になります。*** 会場設営の所要時間(2 時間～2 時間半程度) **例）14:00 開演の場合** 08:00　楽器搬入、仕込み 11:30　リハーサル 13:30　開場 14:00　開演 15:20　終演、バラシ 17:50　撤収完了（予定） 上記スケジュールは目安です。会場条件によって変更となる場合ございます。	
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	特に制限なし（実施会場に入る範囲内で）
	本公演	特に制限なし（実施会場に入る範囲内で）
ワークショップ実施形態及び内容	***～前半はプロの楽団員によるオーケストラのお話や楽器の紹介、ミニコンサートなど～*** 楽器紹介ではオーケストラが弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の4つのグループで出来ている事を説明し、楽器ごとに順番に紹介していきます。 子供たちが頭の中でイメージしやすいように、各楽器の実寸大のパネルを持ち込み楽器の形（長さ）や大きさや演奏方法の違いなどをわかりやすく説明いたします。 開場設備の条件にもよりますがプロジェクターを利用して画像投影を行う場合もあります。 また、弦楽器の弓や弓の毛の材料、弦やコマなどの本物のパーツを用意し、バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバスの弦の太さやコマの大きさの違いなどを見比べて頂く事ができます。 日程によって楽器の組み合わせは様々となりますが、それぞれの楽器の演奏はもちろん、オリジナル編成でのアンサンブル演奏をお届けいたします。 指揮についても本公演の指揮者体験コーナーを見据え本公演の曲と同じ2拍子での指揮の練習を全体で行います。 ワークショップでは何名かの児童・生徒の皆さんに指揮に挑戦していただくことで本公演での指揮者体験に繋がるよう心がけます。 ***～後半はプロのオペラ歌手による歌唱指導、ミニコンサートなど～*** 歌唱指導については、身体の仕組みや発声に関する説明、呼吸法・体操なども交えながら行います。歌を通じて相手に対する思いやりや何かを伝えることの大切さなどを感じることができるよう心がけます。	

ワークショップ実施形態の意図	ー子ども達が音楽を **目** と **耳** と **心** で楽しむ気持ちを育みたいー ワークショップにて事前に本公演での共演曲目の指導を行うことで、本公演に向けての課題を明確にいたします。 オーケストラのお話や楽器紹介をする際には実寸大の楽器パネル（組立式）を持ち込み、楽器の実際の大きさを説明いたします。会場条件によってはプロジェクターを使っての画像投影や資料説明を行います。 また実際に本公演で使われる楽器の演奏を聴くことで子供たちに楽器や音楽に対して興味を持ってもらい、本公演がより充実する為のワークショップとなるよう努めてまいります。 ワークショップでは、より近い位置で鑑賞していただき楽器の形や奏者の息づかいなどを直に感じられるよう意識して取り組んでおります。 歌唱指導では歌詞の意味、友達を思う心、一緒に歌う事の感動を大切に伝えれるように心がけております。
特別支援学校での実施における工夫点	基本的には変更なく実施できると思いますが、学校の先生方とよく話し合い、できる限りご要望に沿えるよう柔軟に対応させていただきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

令和3年度　文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

＜ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団＞（出演予定）　　指揮：大勝　秀也 または 牧村　邦彦　他（予定）

● コンサート・ミストレス：赤松　由夏（予定）　● 歌と司会：内藤　里美　または　北野　智子 他（予定）

Violin Ⅰ
第1ヴァイオリン

赤松　由夏
山根　朋子
井上　なつき

Violin Ⅱ
第2ヴァイオリン

景山　映子
池上　尚里

Viola
ヴィオラ

上野　亮子
森永　愛子

Cello
チェロ

皆川　隼人

Contrabass
コントラバス

丹澤加奈子

Flute
フルート

江戸　聖一郎
菱田　弓子

Oboe
オーボエ

福田　由美
高橋　幸子

Clarinet
クラリネット

松尾　依子

Fagot
ファゴット

岡本　真弓

Horn
ホルン

川村　真菜美
奥　祐里恵

Trumpet
トランペット

髙木　宏之

Trombone
トロンボーン

岡村　哲朗

Timpani
ティンパニ

安永　早絵子

Percussion
パーカッション

大竹　秀晃

Harp
ハープ

山根　祐美

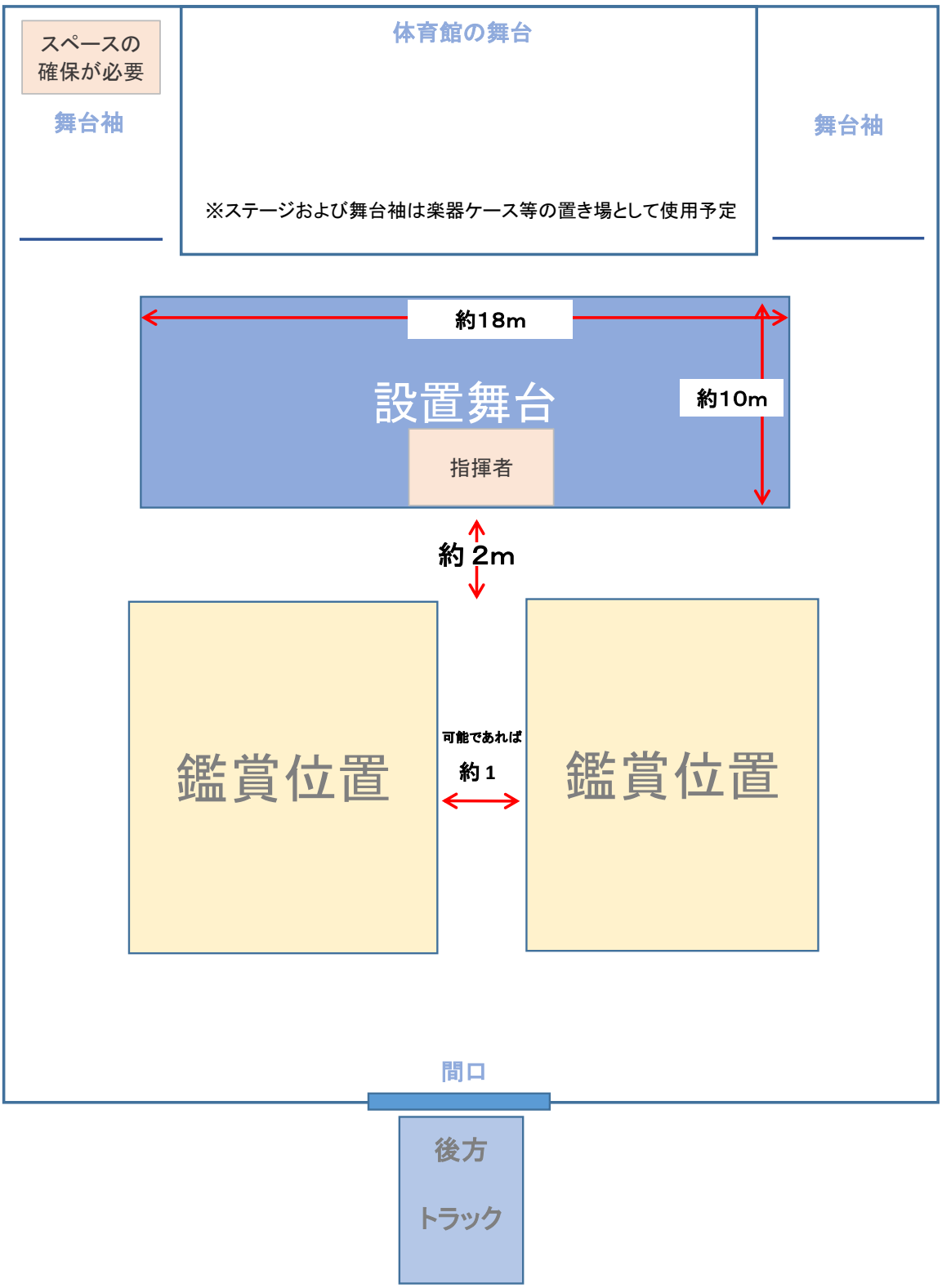
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	256	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	C区分
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団				制作団体名	学校法人　大阪音楽大学			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	4室	条件	指揮者1室、ソリスト1室、オケ1室、オケ1室 ※着替え用であるためカーテン等で目隠しが出来る部屋が希望です。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	大型バス　1台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック（ロング）車高3.1m 全長6.3m 車幅2.0m			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			5m以内			
	可	搬入経路の最低条件			2t×1台分の物量があり、すべて人力で持ち上げて移動させるため横付けできない場合は要相談となりますが、雨天時の対策が必要不可欠であること（3m50cm以上の屋根が必要）と、横付けできない場合は状況にもよりますが搬入・搬出時にお手伝いをお願いする場合があります。 ※調整の際に一度ご相談いただけましたら、検討させていただきます。			
		理由			大型楽器（ティンパニ・コントラバス・ハープ）等の搬入をするため			
	可	設置階の制限＊			2階以上の場合、お手伝いをお願いすることもあります。			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m以上が望ましい	高さ	2.2m以上が望ましい		
WSについて	可	参加可能人数		特に制限なし				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		80分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		特に制限なし				
	可	舞台設置場所＊		フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	18m	奥行	10m	高さ	－
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要			
	可		舞台袖スペースの条件＊		袖に荷物がない状態			
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	リハーサル・本番中に日差しが入ると公演の妨げになるため、カーテンがない場合は他のもので代用していただく必要があります。		
	－	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	舞台設置範囲外であれば移動不要ですが、舞台設置の妨げとなる場合移動要。		
	－		ピアノの事前調律＊		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		縦方向に固定で設置している場合は舞台の妨げになるため実施できません。（縦方向に昇降式であれば問題ございません。）			
	可	公演に必要な電源容量		－	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							
	可	本公演時、ワイヤレスマイク 2本使用（機材は楽団持込）電源のみ借用いたします。（通常コンセントで対応可）						
	－	※ワークショップではピアノを使用いたします。（本公演では使用いたしません）						

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m以上が望ましい	高さ	2.2m以上が望ましい
搬入車両の横づけの要否		要 （応相談可）		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m以内 （応相談可）		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

プログラム

フランス歌劇の代表作として世界的に人気のある『カルメン』の前奏曲で、華やかにコンサートの幕開けです。

●オープニング

ビゼー　／ 歌劇「カルメン」より　前奏曲

●楽器紹介

弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話と演奏を交えながら紹介していきます。

●オーケストラ演奏

マスカーニ　／ 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲

●オペラ・アリア

プロのオペラ歌手の歌声を聴いてみよう♪

～プロの歌手による歌声をお届けします～

— 休憩 10～15分 —

●校歌合唱

～オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう！！～

君も未来のマエストロ♪ オーケストラの指揮を体験♪

●指揮者体験コーナー

ビゼー　／ 歌劇「カルメン」より　前奏曲

●共演コーナー

～合唱してみよう！～

オーケストラと子供たちによる夢の共演♪

杉本竜一　／ ビリーヴ

●オーケストラ演奏

チャイコフスキー／ バレエ組曲「くるみ割り人形」より　花のワルツ

物語はクリスマスの夜のお話。おとぎの国の花たちがハープの音色に乗せて踊りだします。

◆アンコール

シュトラウス　／ ラデツキー行進曲

※ 上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　　A区分のみ　・　A区分とB区分の両方　・　Ｃ区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん　きょういくえんげきけんきゅうきょうかい 公益社団法人　教育演劇研究協会		
代表者職・氏名	代表理事　森下　文雄		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町 323-3		
電話番号	053-461-5395	ＦＡＸ番号	053-461-6378
ふりがな 公演団体名	げきだんたんぽぽ 劇団たんぽぽ		
代表者職・氏名	代表　上保　節子		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町 323-3（JR「浜松駅」からバス 10 分「子安」下車）		
制作団体設立年月	1955 年　　2 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　森下文雄 常務理事　上保正道 理事　　鈴木秀志　佐野牧夫 他 10 名 監事　　守屋明　杉山一成	(1)団体構成員　個人正会員　45人（うち劇団員31人） 個人賛助会員　43人（うち法人会員4社） (2)加入の条件　法人の目的に賛同し、理事会の承認を得た者	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	上保節子・松下哲子
経理処理等の監査担当の有無	有　・　無	経理責任者名	森田美代子（経理） 守屋明（監査）

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1945 年　長野県篠ノ井町（現長野市）で小百合葉子主宰の児童劇団たんぽぽを発足。
1950 年　長野県松本市へ拠点を移し、公演は、東京、静岡、岐阜、神奈川へと広がる。
1953 年　活動の拠点を静岡県浜松市へと移す。
1955 年　文部省（当時）から児童劇団として初めて公益法人格が許可され社団法人教育演劇研究協会を設立。
1963 年　復帰前の沖縄公演に出発。沖縄全域 120 日 209 公演実施。
1966 年　北海道に事務所を新設。
1972 年　長野県に事務所を新設。
1986 年　沖縄県に事務所を新設。
1996 年　社団法人設立 40 周年、劇団創立 50 周年を記念し、全国縦断公演を行う。
2012 年　内閣府より公益社団法人の認定を受け、公益社団法人教育演劇研究協会に移行</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">劇団創立以来、公演回数は、延べ 44,000 回以上を実施。その公演のうちほとんど（約 8 割）が、学校体育館での公演である。
その公演活動範囲は、北海道から沖縄に及び、学校規模も児童数 1,000 人以上の学校から 10 人に満たない小規模学校まで、様々行っている。
年間公演回数は約 350 公演。昨年（R元年）度は、335 日 404 公演を実施。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">平成 21 年、静岡県文化振興プラン事業として、特別支援学校 21 校、延べ 2,553 人の特別支援学校の生徒を招待し、8 会場 11 公演を実施した。
平成 22 年度には、諫早特別支援学校、島原特別支援学校、他 3 校で実施。
これまでにも、毎年1校以上は、聴覚、視覚障害を含む特別支援学校で、公演を行っている。
平成 30 年度、「文化芸術による子供の育成事業」で、北海道釧路鶴野支援学校で公演。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>DVD を提出します</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="4">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　劇団たんぽぽ　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	メニューはお話『おはなしレストラン』
本公演演目 原 作 ／ 作 曲 脚　　本 演 出 ／ 振 付	『おはなしレストラン』 原作/ブレーメンの音楽隊・おおきなかぶ 脚本/宮田恵紀子　演出/村岡由美子 音楽/村岡由美子　衣装・美術/柿平衣名美 照明/真野亮文 公演時間（ 60 分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演 目 概 要	劇団たんぽぽの昔話作品集「おはなしあのね」の中から、「ブレーメンの音楽隊」と「おおきなかぶ」を組み合わせ、『おはなしレストラン』として上演します。 【あらすじ】 「いらっしゃいませ。おはなしレストランへようこそ。このレストランで、お出しするものは、食べ物のお料理ではございません。日本中、いや世界中のいろいろなお話をご用意しております。さて、皆さん、なんのお話がお好みですか？」 ウエイター、ウエイトレスと客席との掛け合いから始まるお芝居。今回は、めん料理とかぶ料理『ブレーメンの音楽隊』と『おおきなかぶ』をお出しします。 だれもが知ってるお話を、客席とコミュニケーションを取りながら、時に、お芝居に参加してもらいながら、演劇を身近に感じてもらえる作りとなっています。
演 目 選 択 理 由	この演目では、特に、演劇体験ということにこだわっています。お話自体は、単純なわかりやすい昔話であり、友情や勇気、命、など大きなテーマがあるわけでは、ありません。しかし、耳になじんでいる、絵本や教科書で知っているこのお話が、劇になって立体的に表現されると、こんな舞台になるんだということを、強く感じられる演目であります。その単純なお話の中に参加して、一緒に表現を楽しむためには、最適な作品ではないかと思い、選択いたしました。1 年生から 6 年生まで、ほとんどの子どもたちが、どこかで耳にしたことのあるお話に、学年を超えて、異年齢で参加することで、お互いを意識した相乗効果が生まれると考えています。 また、コロナによる影響が、どのくらい続くのか予想がつかない中、上演時間も短く、明転のまま、開放感のある空間で上演できることも選択理由の一つです。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	「おおきなかぶ」の、かぶを抜くシーンで、参加してもらいます。なかなか抜けないかぶを抜くため、だれが、選ばれるかわからない状態から、なるべく、異年齢同士がつながれるよう工夫します。単なる遊びにならないよう、お互いのコミュニケーションを図りながら、息をあわせ、一体感が味わえるよう、工夫します。観ている観客を意識し、どれほど大きな、なかなか抜けないかぶなのかを、観客が想像できるような動きを表現してもらい、演じる事の楽しさを体験します。

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">「ブレーメンの音楽隊」では、事前に、夢の国（と思っている）ブレーメンへ向かう道のりの歌を、一緒に歌ってもらいます。歌詞の一部を替え歌にし、子どもたちの考えた歌詞で、歌ってもらう場面も作ります。この先に待っている楽しさへの期待を込めて、だんだんと気持ちが盛り上げっていく様を、リズムに乗って体を動かしながら、参加してもらいます。</td></tr>
<tr><td>出　　演　　者</td><td colspan="3">岩本道夫/宮田恵紀子/柿平衣名美/金原綾香/榊原暁哉</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　5名
ス タ ッ フ:　3名
合　　計:　8名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　0.1t
車 長　6m
台 数　1台</td></tr>
</table>

【公演団体名　劇団たんぽぽ　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・ 無 ） 会場設営の所要時間（　　1時間程度　）
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み
ワークショップ</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>8時</td><td>8時～　9時
9時半～11時半</td><td>13時～14時</td><td>0分</td><td>14時～15時</td><td>15時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ　～300名
本公演　～300名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>ワークショップは、公演日と同日の2時限分を想定しております。
全校生徒を対象に実施することも可能ですが、参加人数は、学校側との話し合いで決めたいと思っています。

【事前準備】
あらかじめ、作品中の音楽CDと楽譜を学校に郵送しておきます。
音楽の時間や給食の時間などを利用して、音楽を流し、歌を周知していただきます。
替え歌にできる部分を明記しておき、ワークショップまでに、児童たちに、候補を考えておいてもらいます。

【ワークショップ当日】
①　1時限目は、発声と体を使った表現遊びを行います。
・発声指導は、相手に届く声、伝える言葉ということに重点を置き、指導します。
・体をつかった表現遊びは、想像力を使って、自由に表現する楽しさを体験してもらいます。本番まで、「大きなかぶ」の参加のことは伏せておきます。そのため、そこに参加することを想定し、抵抗なく、表現できるような雰囲気づくりをします。体で動物を表現してもらったり、お題を出して、何人かで一つのものを表現してもらったりして、どんな表現も間違っていないということを感じてほしいと思います。

②　2時限目は、劇中歌のワークショップです。
・高学年を想定しています。「ブレーメンの音楽隊」の中で使われる、ブレーメンへ行くまでの道行きの歌の替え歌を作ります。事前に考えてもらっていた歌詞を発表しあい、歌を作ります。それを練習して、本番で歌ってもらいます。また、その歌に合わせて、リズムをとりながら、劇を盛り上げる役割も担います。何回か出てくるこの歌は、仲間が増えていくことで、徐々に盛り上がっていきます。そこを表現できるよう指導します。</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	公演日当日のワークショップを設定することで、実際に参加する場面のイメージがつきやすく、公演に対する期待を高める意図があります。希望があれば、舞台設営の様子から見学してもらうこともできます。 事前に作品の音楽 CD を送っておいたり、参加する場面があることを伝えることによって、公演に対する意識を高めていきます。 ①発声指導では、恥ずかしがらず自然に声が出せるように、遊びや対抗戦などを使って、自然と大きな声が出せるように指導します。 また、体を使った表現遊びでは、個々やグループで、いろいろな動物になったり、物になったりして、道具を使わずに表現する方法を体験します。最後に、全体で、ボールなしボール投げや、綱なし綱引き大会などを行い、全体の一体感とコミュニケーションを図りながら、「おおきなかぶ」に参加した際に、イメージがつながりやすくなるようなワークショップを行います。 ②あらかじめ、用紙しておいてもらった劇中歌の替え歌の練習をします。 メロディーは事前に CD をお送りし、曲の長さも短いため、スムーズに進行できます。 自分たちが考えた歌詞で本番の歌が歌われることで、より、公演に参加している意識をもってもらうねらいがあります。高学年になると、表現することに抵抗や恥ずかしさを強く感じる子が出てくるため、自然と作品の中に自分たちも関わっていると意識が持てるよう工夫します。そして、その歌を一緒に歌って、劇を盛り上げ、作品の中で、役を担っているということを感じてもらいます。
特別支援学校での実施における工夫点	特別支援学校では、上演実績があり、同事業においても参加型で実施した実績があります。これまでも、実施校の先生方と話し合い、学校側の実情とニーズに合わせ、臨機応変に対応してまいりました。この作品も、特別な変更なく実施できると考えています。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

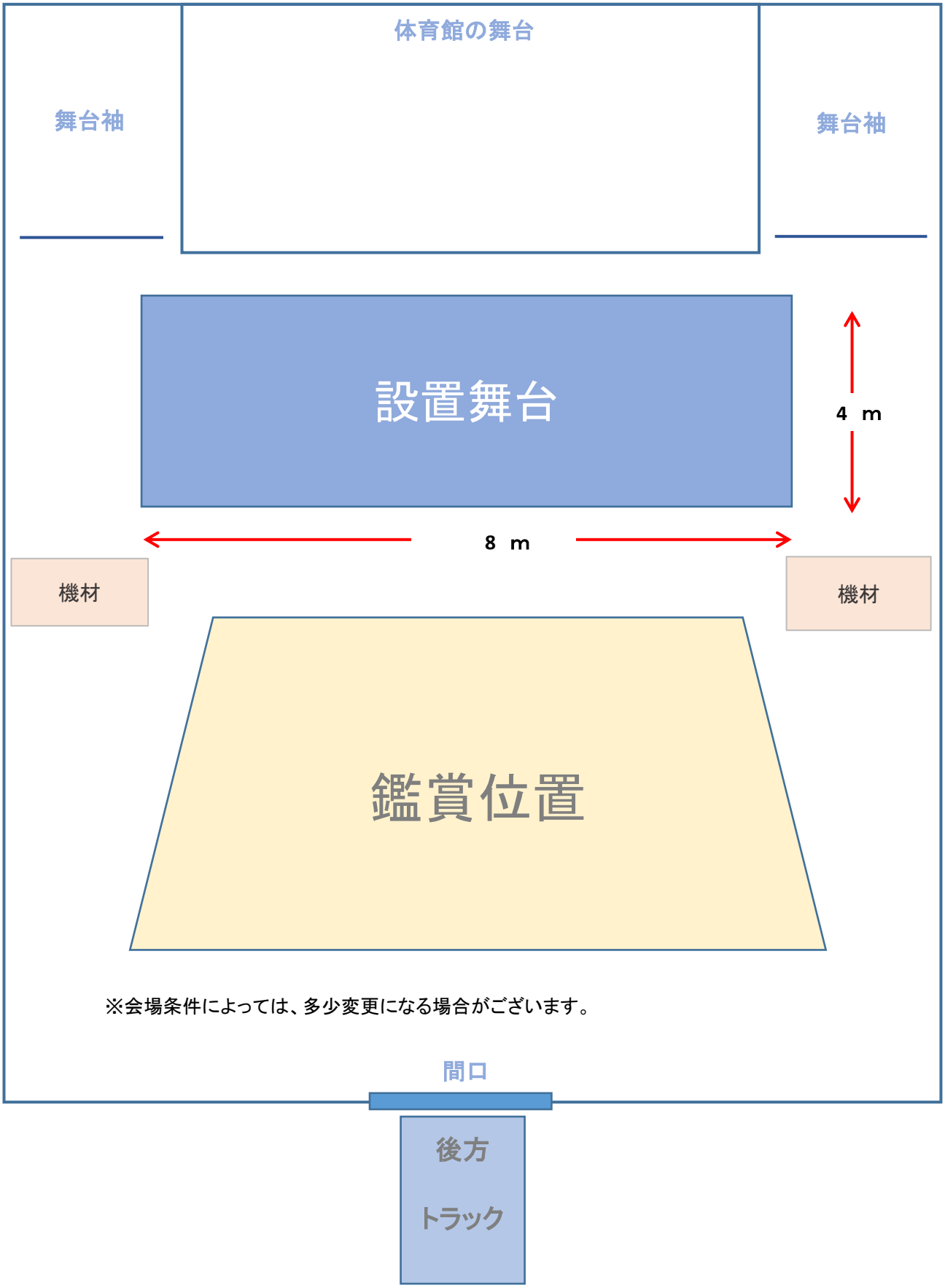
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	437	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	C区分
公演団体名	劇団たんぽぽ				制作団体名	公益社団法人　教育演劇研究協会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	概ね体育館ステージや器具庫を控室とさせていただいております。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　1台	乗用車　2台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン（ハイエース）			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			100m以内			
	可	搬入経路の最低条件			屋根のある経路が望ましい。			
		理由			舞台道具搬入の際、雨や風の影響をさけるため。			
	―	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	概ね1.8m	高さ	概ね2m		
WSについて	可	参加可能人数		300名くらいまで。				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分（2時限分）				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		300名くらいまで。				
	不可	舞台設置場所＊		フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	5m
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		不要			
	―		舞台袖スペースの条件＊					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	―		ピアノの事前調律＊		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		ステージ前方にあるものが、格納式ならば可			
	可	公演に必要な電源容量		50A～75A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



※会場条件によっては、多少変更になる場合がございます。

搬入間口について	幅	概ね1.8m	高さ	概ね2m
搬入車両の横づけの要否	要(できる限り横づけを希望)			
横づけができない場合の搬入可能距離	100mくらい			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	(バレエ) 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，〇を付してください。　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ (Ｃ区分)

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　(あ り) ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん すたーだんさーず・ばれえだん 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	理事長　法眼健作		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4（東京メトロ銀座線外苑前駅）		
電話番号	03-3401-2293	ＦＡＸ番号	03-3401-2252
ふりがな 公演団体名	すたーだんさーず・ばれえだん スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	総監督　小山久美		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4（東京メトロ銀座線外苑前駅）		
制作団体設立年月	昭和 56（1965）年　3 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長　法眼健作 常務理事　小山久美 その他理事　:4 名 監事　:1 名 評議員　:5 名 事務職員　:4 名	1）団体構成員　50 名 2）主な構成員 【総監督】小山久美 【ﾊﾞﾚｴ･ﾐｽﾄﾚｽ】小山恵美 【ﾊﾞﾚｴ･ﾏｽﾀｰ／常任振付家】鈴木稔 【団員】渡辺恭子、塩谷綾菜、池田武志、林田翔平他 加入条件：総監督、ﾊﾞﾚｴ･ﾐｽﾄﾚｽらの審査による。	

事務体制の担当	専任　・　(他の業務と兼任)	本事業担当者名	小山久美、平野綾那 平野友里恵
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	須藤陽子
制作団体沿革	太刀川瑠璃子を代表として昭和 40 年に創立。昭和 56 年には日本のバレエ団初の財団法人化を果たし、平成 24 年に公益財団法人となった。 邦人振付家の作品の上演に力を注ぐ一方、アントニー・チューダーをはじめとする海外の優れた近代バレエ作品を日本に紹介し、常に日本のバレエ界の発展を念頭に歩みを進めてきた。これまで年2～3回の自主公演、文化庁の移動芸術祭・青少年芸術劇場を実施し、近年では戦略的芸術文化創造推進事業やその他のワークショップやアウトリーチ等、普及活動にも積極的に取り組んでいる。海外公演は昭和 61 年北京での日中合同公演、平成 5 年ソウル国際舞踊祭、平成 14 年ドイツ・ハイルブロン市立劇場招聘公演、平成 19 年上海・南京公演、平成 22 年上海万博公演、令和元年パリ Japan Expo 公演等の実績がある。平成 27 年には創立 50 周年を迎えた。		
学校等における公演実績	<u>芸術鑑賞教室</u>　学校からの依頼による「芸術鑑賞教室」を実施。 ＜実績例＞ 平成 17 年 「ジゼル」 東京女学館　昭和女子大学人見記念講堂 平成 18 年「ジゼル」 吉祥女子中学高等学校　府中の森芸術劇場 平成 23 年 「コッペリア」 東京女学館　ゆうぽうとホール 平成 29 年 「ジゼル」 跡見学園中学校・高等学校　東京文化会館 <u>ワークショップ等アウトリーチ活動</u>　子どもを対象としたアウトリーチ活動を展開。 ＜実績例＞ **平成 17～26 年度**　東京都「子どもたちと芸術家の出あう街」のアウトリーチ活動として都内の小学校などでワークショップや小規模公演を実施。 **平成 26 年度～継続**　小田原市内小学校にて公演及びワークショップを実施。 **平成 27 年度～継続**　特定非営利活動法人子ども劇場東京都協議会が実施する「文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣事業）」において小学校でのワークショップを担当。		
特別支援学校における公演実績	■　平成 22 年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」において 1 校実施。 実施校：北海道余市養護学校しりべし学園分校 ■　平成 24 年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演）」において 1 校実施。 実施校：兵庫県篠山市立篠山養護学校 ■　平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 1 校実施。 実施校：福井県立奥越特別支援学校 ■　平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 1 校実施。 実施校：福井県立南越特別支援学校 ■　平成 28 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 2 校実施。 実施校：金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校、富山県立にいかわ総合支援学校 ■　平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 2 校実施。 実施校：北海道鷹栖養護学校、岩手県立宮古恵風支援学校 ■　平成 30 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 2 校実施。 実施校：茨城県立霞ケ浦聾学校 このほか、特別支援学校教員や理学療法士の協力のもと障がいのある子どもたちを対象とするダンスプログラム「We Ballet!（ウィー・バレエ）」を開発し、平成 28 年より実施している。		

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://www.youtube.com/watch?v=6BDs7EBY6zM (一部のみ)
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	クラシックバレエの世界へようこそ
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	「バレエの世界へようこそ」 1.　バレエってなんだろう(解説) 2.　「白鳥の湖」より 　4 羽の白鳥の踊り、グラン・アダージオ 3.　「眠りの森の美女」より 　長靴をはいた猫と白い猫 　★体験:猫のステップと動き (休憩) 4.　音楽とワルツ(解説) 5.　ワルツに挑戦　★体験 6.　ワークショップの成果発表　★児童による上演 7.　「くるみ割り人形」より 　スペイン、アラビア、中国、トレパック、金平糖、花のワルツ 音楽:チャイコフスキー　演出:小山久美 ★=児童の参加部分 公演時間（　80　分）

	著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	クラシックバレエ作品の中でもっとも有名なチャイコフスキー作曲の三大バレエから、見どころを選りすぐって上演します。バレエの成り立ちや、作品の解説などを分かりやすく合間に組み込み、さらに鑑賞だけでなく児童の体験部分を充実させた内容となっています。コンパクトな編成ながら、演目は多様でバラエティに富み、耳慣れた美しい音楽とともに、クラシックバレエの魅力を全般的に味わうことができます。「知っているけど観たことはない」というバレエに身近に触れ、芸術を楽しむ豊かな感性を引き伸ばす機会となることを目指します。

<table>
<tr><td>演目選択理由</td><td colspan="3">三大バレエをひと通り味わうことで、バレエの基本的な知識を身につけることができます。また、短い作品だからこそ、バレエの様々な表現スタイルを網羅的にご紹介できることから選びました。
使用されるチャイコフスキーの楽曲はテレビなどで誰もが一度は耳にしたことがある名曲がほとんどです。各学校において事前に音楽の授業に組み込む等、本事業を活用して多角的に子どもたちの好奇心を刺激するようなご提案も可能と考えます。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">低学年児童には、猫の動きと表現、高学年児童にはワルツの動きに挑戦してもらいます。ダンサーによる実演と児童の体験を連動させているため、体験を通して動きや表現に対する興味が湧き、その後の鑑賞へスムーズに導くことができます。
また、本公演の終盤のフィナーレでは、舞台上のダンサーと一緒に動いてみます。客席の鑑賞児童全員が座ったままで参加できる内容なので、大団円となって盛り上がります。</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">スターダンサーズ・バレエ団員 （別紙参照）</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者: 8 名
スタッフ: 3 名
合　計: 11 名</td><td>機材等
運搬方法</td><td>積載量 2 t
車 長 4.7 m
台 数 1 台</td></tr>
</table>

【公演団体名　公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・ 無 ） 会場設営の所要時間（ 2 時間程度 ）
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>時</td><td>9 時～ 13 時</td><td>13:30～14:50</td><td>10 分</td><td>15 時～16 時</td><td>17 時</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ　約 100 名を上限とする</td></tr>
<tr><td>本公演　上限なし（収容できる範囲）</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>・　講師は振付師、指導者、指導助手、計 5 名。
・　基本のポジションと動きの説明（ダンサーの実演）
・　基本的な動きと表現に挑戦（児童の体験）</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>言葉を使わずに身体を通した表現に触れ、コミュニケーション能力の向上を目指します。また、音楽と一緒に身体を動かし、自分たちも公演の一部になる体験を通して、チームワークや一つの作品を力を合わせて創り上げる喜びや達成感を共有することを狙います。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>過去に実施した特別支援学校では、解説より、ダンサーと一緒に身体を動かすほうが好まれることを経験してきました。そのため、言葉による説明を減らし、誰もが無理なく参加できる体験型に変更します。事前の打ち合わせで学校側のご要望を確認し、柔軟な対応が可能です。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

No.2 別紙メンバー表（A・B区分）

解説	1	小山久美
ダンサー ＜内29名＞ （一部交替出演）	2	秋山和沙
	3	荒蒔礼子
	4	池田武志
	5	井後麻友美
	6	石川聖人
	7	石山沙央理
	8	岩崎醇花
	9	榎本文
	10	海老原詩織
	11	加地暢文
	12	柏知里
	13	角屋みづき
	14	金子紗也
	15	喜入依里
	16	久野直哉
	17	鴻巣明史
	18	塩谷綾菜
	19	鈴木優
	20	鈴木就子
	21	関口啓
	22	田中絵美
	23	谷川実奈美
	24	冨岡玲美
	25	友杉洋之
	26	仲田直樹
	27	西原友衣菜
	28	野口熙子
	29	橋本まゆり
	30	林田翔平
	31	フルフォード佳林
	32	前田望友紀
	33	南亜紗子
	34	宮司知英
	35	森田理紗
	36	山内優奈
	37	和田瞬
	38	渡辺恭子
	39	渡辺大地

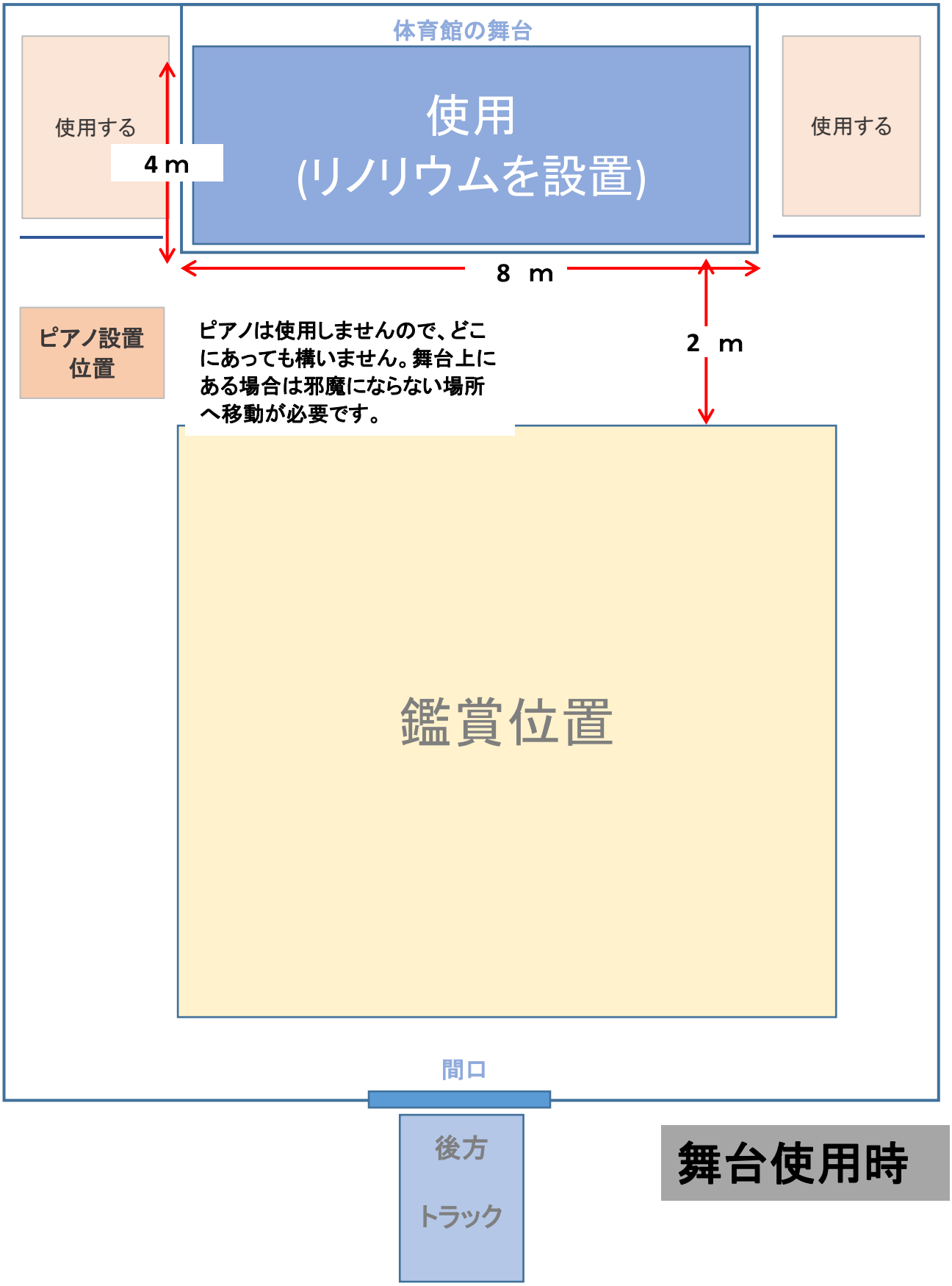
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	712	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック		区分	C区分
公演団体名	スターダンサーズ・バレエ団				制作団体名	公益財団法人　スターダンサーズ・バレエ団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男性，女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	中型バス　1台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック　1台			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内			
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。			
		理由			リノリウム等舞台大道具の搬入をするため			
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		100名程度まで				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		80分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		フロアに収容できる人数であれば問題なし。				
	可	舞台設置場所＊		体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要				
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態				
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		特に問わない	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



舞台使用時

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

スターダンサーズ・バレエ団

クラシックバレエの世界へようこそ

バレエは、音楽、美術、演劇とならぶ舞踊という芸術のひとつです。日本で生まれた舞踊は、能や歌舞伎や日本舞踊になり、西洋ではバレエとなったのです。
西洋の舞踊であるバレエは、今から400年以上前にイタリアで生まれ、バレエが大好きなイタリアのお姫様がフランスの王様にお嫁入したことがきっかけでフランスに移ります。

フランスでは、特にルイ14世が熱心にバレエに取り組み、バレエ学校が作られ、またトゥシューズやチュチュという軽やかな衣裳も生まれました。その後バレエの中心はロシアへ移り、ロシアの作曲家チャイコフスキーの音楽で「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」という3大バレエができたのです。

今日ご覧いただくのは、その3大バレエに出てくる踊りです。
さあ、バレエの世界をのぞいてみましょう。

上演作品

チャイコフスキー作曲の３大バレエから見どころを選りすぐって上演します。

1.「白鳥の湖」より
◆4羽の白鳥の踊り
◆グラン・アダージオ

STAR DANCERS BALLET

上演作品（続き）

2.「眠りの森の美女」より

◆長靴をはいた猫と白い猫

一緒にやってみよう！
猫のステップに挑戦します。（低学年）

3.「くるみ割り人形」より

◆スペイン
◆アラビア
◆中国
◆トレパック
◆金平糖
◆花のワルツ

一緒にやってみよう！
ワルツの動きに挑戦します。（高学年）

STAR DANCERS BALLET

Ⅷ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(メディア芸術)

分野，種目（該当する**種目**に〇を付してください。）

分野	種目
【メディア芸術】	映像，メディアアート等

申請する区分に，〇を付してください。　　A区分　・　C 区分

複数申請の有無（該当する方に〇を付してください。）　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに〇を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじんこどもえいがきょうしつ 一般社団法人こども映画教室		
代表者職・氏名	代表理事　土肥 悦子		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒158-0084 東京都世田谷区東玉川 1-32-23 こども映画教室事務局 【最寄駅】田園調布駅		
電話番号	050-3188-1549	ＦＡＸ番号	
ふりがな 公演団体名	こどもえいがきょうしつ こども映画教室		
代表者職・氏名	代表理事　土肥　悦子		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒158-0084 東京都世田谷区東玉川 1-32-23 こども映画教室事務局 【最寄駅】田園調布駅		
制作団体 設立年月	2013 年 4 月 (2019 年 1 月一般社団法人化)		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	土肥 悦子（代表理事） **諏訪 敦彦（専務理事）** **藤岡 朝子（理事）** **原 悟（理事）** **林 知一（理事）**	**団体社員　土肥 悦子／諏訪 敦彦** **従業員（事務局）浅見 孟** **団体社員加入条件：社員総会での協議の上、加入**	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**浅見 孟**

経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理担当者	土肥 悦子
制作団体沿革	2004 年 金沢コミュニティシネマが主催(金沢 21 世紀美術館共同主催)として、前身となる「こども映画教室」を石川県金沢市が拠点として開催(以降毎年開催) 2013 年 任意団体「こども映画教室」として、東京都を拠点に活動開始。2013 年から 2018 年までの6年間で 40 回の映画に関するワークショップを行った。活動地域は、東京・横浜・川崎・福島・弘前・高崎・上田・豊田・奈良などに広がっている。 2015 年 上映会およびシンポジウム「こどもが映画と出会うとき」を主催(以降毎年開催) 2017 年 フランスのシネマテーク・フランセーズが主催する教育プログラム「Le Cinéma, cent ans de jeunesse(映画、100 歳の青春)」に、世界で 15 カ国目の参加国、そして日本初のコーディネーターとして参加。 2019 年 「一般社団法人こども映画教室」として法人化。		
メディア教育における活動実績	2013 年 8 月 横浜市教育委員会後援、東京藝術大学大学院映像研究科協力のもと「こども映画教室＠ヨコハマ 2014」実施 (2014 年、2015 年、2016 年も実施) 2014 年 6 月 世田谷区奥沢小学校 奥沢体験楽校にて 「映画のおもちゃをつくろう！」 (課外活動) 開催 11 月 〈こどもと映画制作〉しんゆり映画祭シンポジウム招聘・登壇 2015 年 1 月 映画と教育についてのシンポジウム 「こどもが映画と出会うとき」主催 (以降毎年主催) 1 月～3 月 横浜市立新田小学校 「こども映画教室＠新田小学校」を (総合の時間・国語などの授業で) 開催 2 月 「映像アート・マネージャー養成講座 in 宮古」にて 「こども映画教室と創造的な場づくりについて」講義・登壇 7 月 「全国映連第 44 回 映画大学 in 今治」にて 「映画館と街、子どもと映画」講義・登壇 10 月 山形国際ドキュメンタリー映画祭にて 「こどもと映画」シンポジウム招聘・登壇 2016 年 6～10 月 お茶の水女子大学付属小学校 選択授業にて 選択授業「映画」実施 2019 年 平成 30 年度国際交流基金海外派遣助成事業として 「こども映画教室 (映画教室) 南米・米国 公演・デモンストレーション」実施 チリのチリ大学において、「映画は学校だ！ 映画教育に関する国際シンポジウム」にて講演 (諏訪敦彦、土肥悦子) 「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演－実施 「こども映画教室シネクラブ＠横浜シネマリン 2019」実施 「こども映画教室 CCAJ2019-2020」実施 独立映画鍋主催「映画教育のススメ～教育における映画の可能性～」に参加 (中学生たち含む) 2020 年 「こども映画教室 2020×小布施短編映画祭」参加 「とよた★こども映画教室 2020」実施 「アトリエこども映画教室 2020」実施中 「TIFF ティーンズ映画教室 2020」実施中 「令和 2 年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演－」		

<table>
<tr><td>特別支援学校における活動実績</td><td colspan="3">「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演－」にて特別支援学級の児童と普通学級の児童混合でワークショップをおこなった</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する企画のチラシパンフレット等</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する企画の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※WEB 公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.kodomoeiga.com/2019

https://www.kodomoeiga.com/blank-9</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する企画に近い活動を記録した DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※WEB 公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

Ａ区分・Ｃ区分共通

№2(メディア芸術)

メインプログラム ・ ワークショップの内 容 **【公演団体名 こども映画教室】**

<table>
<tr><td>対　　象</td><td>小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生</td></tr>
<tr><td>企 画 名</td><td>映画鑑賞+映画制作ワークショップ
「生きていないものが動く！」
～体育館が映画館に！
みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！～</td></tr>
<tr><td>プログラム全体の流れ</td><td>【プログラムの構成】
<table><tr><td></td><td>ワークショップ 1 回 → メインプログラム</td></tr><tr><td></td><td>ワークショップ 2 回 → メインプログラム</td></tr><tr><td>○</td><td>ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ</td></tr><tr><td></td><td>メインプログラム → ワークショップ 2 回</td></tr><tr><td></td><td>メインプログラム → ワークショップ 1 回</td></tr></table>
【全体の流れ】
1 日目**【ワークショップ 1 回目】**(70 分)
① 導入・講師紹介・今日すること(5 分)
② 「映画鑑賞」:鑑賞作品『赤い風船』上映(35 分／1956 年／フランス)
③ 鑑賞ワークショップ
「映画の中の「赤い風船」の気持ちを想像してみよう」(30 分)
生きていない風船がまるで生きているように動き、少年との信頼関係や友情を結んでいく映画。しかし、風船の気持ちは映画の中では語られないので、風船が悲しい、嬉しいと思っていると感じているのは鑑賞している人。そこに気づいてもらうワーク
1)5 人のチームに分かれて映画に登場した人物、場所、出来事を思い出し、付箋に書き出す
2)映画の流れを描いた映画のタイムラインシートに、さきほどの人物、場所、出来事の付箋をそれらが映っている場所(時間)に貼る
3)赤い風船がどんなきもちだったのか、風船型のカードに書き込み、タイムラインシートに貼る
4)他のチームのタイムラインシートを鑑賞して、人との違いを発見する

【メインプログラム】(80 分 ※休憩含む)
④撮影ワークショップ(50 分)
『赤いボールの冒険』という映画を撮ってみよう」
1 チーム 5 名に分かれ、1 チームにつき 1 分の映画を撮影し、最後にそれを1本の映画にするプログラム
1) 鑑賞ワークで最後にやった、風船の気持ちを描いた風船型のカードの中から、各チーム 1 枚を選ぶ
2) そのカードに書かれた「気持ち」が『赤いボールの冒険』というこどもたちが作る映画のなかの主人公赤いボールの気持ちとなる。風船型のカード のゴムの部分を切り取り、ボール型のカード にする
3) 『赤いボールの冒険』ルールブックの説明(撮影の基本的な約束事)
4) 各チームに赤いボールと iPad が配られる
5) 各チームに配布されたミッションカードを全員が引き、そこに書かれたミッションを実行(クローズアップ、移動撮影、パン、などの撮影方法が自然とできるようなミッションになっている
6) 「秘伝の書」を使って、いわゆる「シナリオ」を書く。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">7)　チームごとに決めた「赤いボールの気持ち」が映るように、工夫して撮影

⑤編集ワークショップ（30 分）
「みんなで撮った映像を 1 分に編集してみよう」
1）iPad に入れた編集ソフトの操作方法を教える
2）こどもたちが自分たちで編集をする

＜＜1 日目の終了後からこども映画教室スタッフがこどもたちの作品を 1 本に編集。また、参加生徒の撮影した映像を素材としてまったく違う映画をスタッフが編集し、合計 2 本の『赤いボールの冒険』ができあがる＞＞

2 日目【ワークショップ】（50 分）
⑥発表会「みんなの作品をつなげて 1 本になった映画をみてみよう」
1）　各チームの作品を再上映し、赤いボールの気持ちがどんな風に映っていたか、他のチームの人たちが感想を言う
2）　作ったチームの人が撮影や編集で工夫したところや赤いボールの気持ちをどのように表現しようとしたのか伝える
3）　プロの編集バージョンをみんなで鑑賞
4）　特別講師（映画監督など）からの講評

⑦記念撮影</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児　童　・生　徒の参加上限人数</td><td>ワークショップ</td><td colspan="2">30～100 名想定</td></tr>
<tr><td>メインプログラム</td><td colspan="2">30～100 名想定</td></tr>
<tr><td>メインプログラムの主たる指導者</td><td colspan="3">別紙「【C 区分_赤いボール】出演者名簿」参照</td></tr>
<tr><td>スタッフ人数
（1 公演あたり）</td><td>上記指導者を含め、17名</td><td>機　材　等
運搬方法</td><td>積載量　　1t 以下
車　長　　4. 265m
台　数　　2台（バン）
※宅配便も使用します</td></tr>
</table>

企画のねらい	**❶主体的な観客を育てる** 映画はつくっただけでは完成しない。人が観て初めて完成する。 だからこそ、時代を超えて人々に愛される映画が名画とされる。同じ映画を観ても、観たときの年齢や状況によって感じ方が違うことがあるのも、映画が各人の脳（心）のなかでその人の経験や記憶を呼び覚ましていくからだろう。 そのように“映画を観ている「私」”を感じ、映画に対して「私なりの考えを持つこと」や「自分なりにその映画をうけとり、自分たちの頭の中で映画を作り出す」ということは普段あまり意識されない。そのような鑑賞は観る側にも鑑賞能力を必要とするからだ。 そこで、国民の多角的な芸術鑑賞能力の向上のためには、このような、映画鑑賞における“主体的な観客”である姿勢をこどものころから大事にし、それを楽しく体験できる機会が必要である。 **❷発想力の育成や芸術鑑賞能力の向上** また、鑑賞のみではなく、鑑賞した映画に関連した映画制作を体験することで、カメラの存在（アングルやサイズ、フィックスなのか手持ち、移動撮影など）や被写体の動き、演技などに気づくことができる。 こうしたこどもたちの発想力の育成や芸術鑑賞能力の向上を目指して本企画を実施する。 **❸名作鑑賞による地域交流** ワークショップ1回目は、不朽の名作であるフランス映画『赤い風船』 を鑑賞する。映画館が街中からなくなっている今、体育館が映画館に変わるということは、地域の大人も含めて体験してもらいたいことである。その鑑賞に『赤い風船』は最適であると考える。ほとんどセリフがないが、小学低学年でもストーリーが理解でき、テーマは信頼や友情、孤独、死といったものまで含まれ、その映像の美しさは大画面ならではのだいご味がある。世界中で愛され、こどもたちは息を飲んでスクリーンを見つめる、とても豊かな映画だ。 **❹映画を深く鑑賞する** 鑑賞後のワークショップでは、『赤い風船』の内容を振り返るゲームをしながら作品を深く理解していき、最後に、現実世界では感情を持たないはずの「風船の気持ち」を想像してもらう。映画のなかで風船はしゃべったりしないのに、風船の気持ちがわかったのは、「あなた」がそう考えた、感じたからであることを伝える（主体的な観客）。 **❺映画ごっこではなく本当のクリエイションを目指す** メインプログラムでは、赤い風船から赤いボールに主人公を変え、生きていないボールを生き生きと映画の中で見せるにはどうしたらいいのかをこどもたちに考えてもらい、実際にそれを iPad で撮影する。いくつかのワークを事前にやることで、こどもたちは自主的にチーム内でコミュニケーションを図り始める。ボールの気持ちをどうしたら表現できるのか、仲間と悩み工夫し、協力し実際に手を動かしながら映画を内側から体験する。最後に自分たちで編集をして各チーム１分以内の映画に仕上げる。 **❻映画づくりには正解がないことを伝える** ２日目に行なわれるワークショップ2回目では、メインプログラムで撮影したものを1本につなげて（こども映画教室のスタッフが前夜に編集する）、それを鑑賞する。他のチームの作品のボールの気持ちを想像し発表し、次に作った側もどんな気持ちを表現しようとしたか、どんな工夫をしたのかを発表する。これによりつくった側とみた側の違いがわかる。そこで答え合わせにならないように、どう受け取ってもいいのだということをしっかりと伝える。映画鑑賞も映画制作もどこにも正解がないこと、自由な解釈ができることを伝える。 最後にプロの編集バージョンを見せることで、さまざまな編集の技を垣間見せる。 プログラム全体を通して伝えていきたいのが、学校の授業と違って、リラックスして自由な

	発想をすることが大切であること。クリエイティブであるためには心を開放し、楽しさを感じながら映画を観たり作ったりしていくことを伝える。 こどもたちは自分なりの映画の観方を自由に発表し、自分たちの手で作り上げた作品を観てもらうことで“主体的に”映画を楽しみ、自分の観たいように観てもいい、作りたいように作っていい、という体験を通して、自己肯定感が育まれることもこの企画のねらいである。

Ａ区分・Ｃ区分共通

№3(メディア芸術)

【公演団体名　こども映画教室】

<table>
<tr><td>実施にあたっての会場条件および学校側が必要な準備等</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">当日の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>【ワークショップ】</td><td>【メインプログラム】</td></tr>
<tr><td>**前日**（準備：1.5～3 時間）
16:00　学校到着
先生方と打ち合わせ
上映会場暗幕設置などの設営
上映リハーサル

1日目
8:45　ワークショップ 1 回目（70 分）
※全体の流れ①～③
9:55　休憩（10 分）
→ **メインプログラムへ**

2日目
12:00 学校到着
機材設置＆試写
スタッフ打ち合わせ
13:00 ワークショップ2回目（50 分）
※全体の流れ⑥～⑩
13:50 終了

~17:00 上映機材搬出</td><td>**1日目（ワークショップ1回目の後）**

10:05 メインプログラム開始（70 分）
※全体の流れ④⑤
11:15 メインプログラム終了

13:50 1日目終了</td></tr>
<tr><td colspan="2">※採択決定後，採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">特になし</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

【公演団体名　こども映画教室】

令和３年度「文化芸術による子供の育成事業–巡回公演事業–」
出演者名簿 （予定）

C区分
企画名：「生きていないものが動く！」
みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！

	出演者	17名
	役職	氏名
1	映画監督	諏訪敦彦 ／ 萩生田宏治
2	プロデューサー	土肥悦子
3	映像制作チーフチームリーダー	深田隆之
4	映像制作チーフチームリーダー	奥定正掌
5	映像制作チーフチームリーダー	大川景子
6	映像制作チーフチームリーダー	飯岡幸子
7	映像制作チーフチームリーダー	今橋貴
8	映像制作チーフチームリーダー	糠塚まりや
9	映像制作チーフチームリーダー	小林和貴
10	映像制作チーフチームリーダー	西原孝至
11	映像制作チーフチームリーダー	萩生田宏治 ／ 上田謙太郎
12	メイキング動画撮影監督	太田達成
13	メイキングスチール撮影監督	中村隆一
14	テクニカルマネージャー	酒井貴史
15	テクニカルマネージャー	御子柴和郎
16	テクニカルマネージャー	山本大輔
17	アシスタントプロデューサー	浅見孟

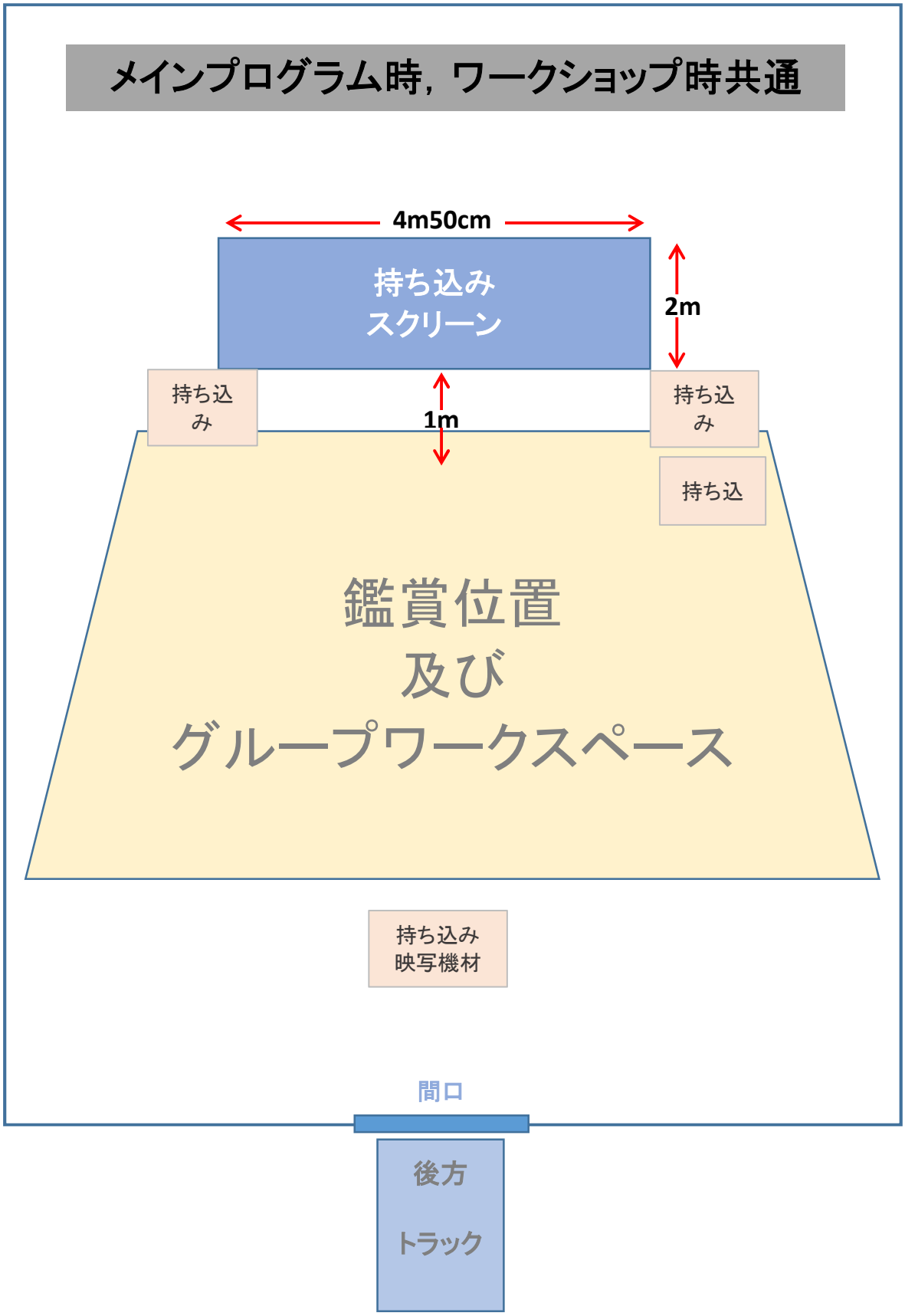
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1402	分野	メディア芸術	種目	映像	ブロック		区分	C区分
公演団体名	こども映画教室				制作団体名	一般社団法人　こども映画教室			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	機材や貴重品を一時保管するため施錠できる教室が望ましいです。スタッフ11人が入れる広さ			
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　2台	乗用車　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン1台			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要、台車などをご用意いただけましたら横付けの要否相談可			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			100m以内 ※これ以上でも台車等をご用意いただければ相談可			
	可	搬入経路の最低条件			なるべく屋根のある経路希望（相談可）			
		理由						
	―	設置階の制限＊			問わない			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m（相談可）	高さ	2m（相談可）		
WSについて	可	参加可能人数		100名まで（多少の増員は相談可）				
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	小学校3年生以上		
	可	所要時間の目安 単位：分		WS① 70分　WS② 50分（②は人数が多ければ相談ください）				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		30～100名を想定				
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	4.5m	奥行	2m	高さ	3.7m
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要				
	―		舞台袖スペースの条件＊					
	可		緞帳＊	もしあれば使用希望	バトン＊	不要		
	不可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	プロジェクターで映像を投影するため		
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量		6A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							
	可	照明の準備の都合上、巡回確定後に体育館の天井照明が水銀灯かLEDかをお知らせください						
	可	映画撮影の時に、ロケ地として学校敷地内、学校近隣等を使用希望です。 巡回決定後にご相談させてください。						

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m程度	高さ	2m程度
搬入車両の横づけの要否		要、台車などをご用意いただけましたら横付けの要否相談		
横づけができない場合の搬入可能距離		100m以内 ※これ以上でも台車等を ご用意いただければ相談可		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

実施日程	実施校名	地元主催者

知ってますか?～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

こども映画教室とは…

15年前に始まった「こども映画教室」がめざすのは「こどもと映画のアカルイミライ」。多様な活動を通して、映画という自由で身近な芸術をより多くのこどもに届けます。
こども映画教室が大事にしていることは2つ。 1. 大人は手出し口出ししないこと。 2. 一流の映画人と出会うこと。
大人がこどもを信じ自主性を尊重することでこどもには自尊感情が生まれ、真剣な大人との出会いはこどもを勇気づけ自己肯定感をもたらします。
「映画教育は人間教育」という言葉を胸に、生きづらさを抱えた子や、居場所をもちにくい子にも映画を届けたいと活動しています。これまでに、是枝裕和、諏訪敦彦といった一流の映画監督たちがこの活動に共感し特別講師を引き受けています。

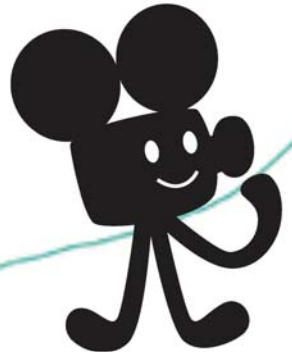
一般社団法人 こども映画教室
〒158-0084 東京都世田谷区東玉川1-32-23
phone & fax : 03-6313-1641
http://www.kodomoeiga.com
info.kodomoeiga@gmail.com
https://www.facebook.com/kodomoeiga/

文化庁

令和元年度
文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

一般社団法人

こども映画教室



映画鑑賞＋ワークショップ公演

「生きてないものが動く！」

みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！

「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

映画鑑賞＋ワークショップ

「生きてないものが動く！」

みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！

プログラム紹介

※プログラムは施設ごとの状況により変更となる場合がございます。

※本公演ではiPadを使用して撮影します

①映画を“観る”

映画『赤い風船』は世界三大映画祭の一つである第9回カンヌ国際映画祭短編映画部門で最高賞のパルム・ドール第29回アカデミー賞脚本賞ほか数多くの賞を受賞した今もなお価値が失われない名作です！！

1950年代のパリを舞台に男の子と風船の友情を描いたこの小さな映画は、世界中で愛されています。この映画に出会えてよかったと思える美しい名作をみんなで鑑賞します。

『赤い風船』（1956年／フランス映画／36分）

監督・脚本：アルベール・ラモリス

おはなし

ある日、街角で赤い風船をみつけた男の子。

なんと風船は手をはなしても、

まるで生きているかのように男の子のあとをついてきます！

②映画について“おしゃべりする”

鑑賞した『赤い風船』について、どんな人が出ていた？

どんな音がした？など、みんなでおしゃべりしながら振り返り、映画について感じたことや考えたことを言葉にします。

③映画を自分たちで“撮る”

チームに分かれ、赤いボールを主人公にした短い映画をiPadで撮影します。

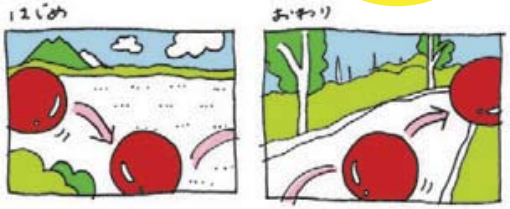
ストーリーも撮り方もみんなで考えます。

ルールはひとつ！

ボールはかならずフレームの外から

入ってきて、最後はフレームからで出ていきます。

おもしろそうな場所を見つけて撮ってみましょう。



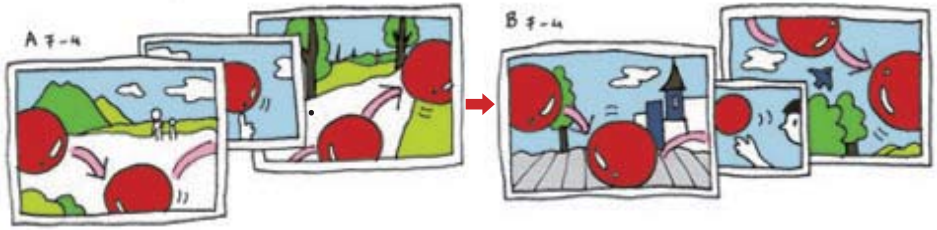
④自分たちの映画を“観る”

それぞれのチームが撮った映画を1本につなげてみると?!

なんとAチームの映画のおわりにフレームの外に飛びだしたボールが

Bチームの映画の中にポンとはいってきて、次にはCチームの映画の中に！！

まるで赤いボールがみんなの知っている場所を冒険していくように見えます！



特別講師プロフィール

諏訪 敦彦（映画監督）

映画監督、大学教授（東京藝術大学）。1997年に公開された『2/デュオ』で長編映画監督デビューの後、1999年公開の監督作品『M/OTHER』で、第52回カンヌ国際映画祭の国際批評家連盟賞を審査員全員一致で受賞。2005年には、全てフランス人キャスト・スタッフによる『不完全なふたり』（日仏合作）がロカルノ国際映画祭において審査員特別賞と国際芸術映画評論連盟賞を受賞。その後もフランスを活動拠点とし、オムニバス映画『パリ・ジュテーム』（2006年）への監督参加、フランス人俳優との共同監督による『ユキとニナ』（2009年）がカンヌ国際映画祭において高い評価を受ける。2018年、8年ぶりの監督作品『ライオンは今夜死ぬ』（2017年）が公開された。最新作は『風の電話』（2020年初春公開予定）

● ワークショップスタッフ

【特別講師】
諏訪 敦彦（映画監督）

【プロデューサー】
土肥 悦子

【ファシリテーター】
深田 隆之　奥定 正掌　今橋 貴
小林 和貴　糠塚 まりや　大川 景子
飯岡 幸子　西原 孝至　上田 謙太郎
太田 達成　中村 隆一

【テクニカルマネージャー】
酒井 貴史

【アシスタントプロデューサー】
浅見 孟